

2023年度 研究所事業報告書

研究所名	アート・リサーチセンター
------	--------------

I. 研究成果の概要（公開項目） ※1ページ以内にまとめること

本欄には、研究所・センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、研究所総合計画(5カ年)および2023年度重点プロジェクト申請調書に記載した内容に照らし、項目立てなどをおこなうことができるだけわかりやすく記述してください。なお、2023年度に採択を受けた研究所重点プロジェクトの実績報告は、書式Bに記述のうえ提出してください。

2023年度事業としては、ARCが国際共同利用・共同研究拠点として認定され、「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点」(ARC-iJAC)の事業を滞りなく、かつ戦略的に前進させることが中心の課題である。世界の日本文化研究に対して負っている責任の大きさを考慮すれば、ARCが進むべき方向性は明確である。それは、ARCがこれまでに蓄積したデジタルリソースを存分に活用し、時代・社会の要請にも応じた形で日本文化研究に邁進しつつ、そこで必要不可欠となる研究基盤・研究環境の開発をさらに推進すること、そしてARCという基盤・環境で活動したいと希求する国内外の研究プロジェクトにこれらを提供することで、大規模なリサーチ・コミュニティの核となること、とまとめることができる。この実現のための具体的な方向性が重点プロジェクト「文化情報のデジタルデザイン:データ駆動型研究の推進を目指して」を選定した理由となる。当該研究環境を開発しながら研究を進める点においては、R2030 チャレンジデザイン「大胆な発想から自己変革」する研究所像に直結していることも強調しておきたい。

以下、上記の研究所像を実現するためには、下記8点を主要な課題として設定したが、それぞれの成果を述べる。

(1) デジタル・アーカイブ活動のさらなる推進(リソースおよび技術の双方の追求)

海外では、ロイヤルオンタリオ博物館(ROM)、米国シカゴ美術館、カリフォルニア大学バークレー校東アジア図書館、などにて、所蔵資料のデジタル・アーカイブを実施。また、国内では、築地双六館(東京都中央区)の所蔵資料のデジタル化を行なった。これに加えて、松竹大谷図書館のアーカイブ支援も行った。それぞれについて、データベースへの登録・一般公開に結びつけている。また、ポータルデータベースシステムを活用して、オンライン上の画像データ(+メタデータ)の取り込みによる巨大アーカイブ、すなわちビッグデータの形成が実現できた。

(2) ARCのより積極的なDH教育普及活動による国内・海外におけるデジタル化ブランチの形成

(3) 海外でのデジタルアーカイブブランチ(ARCモデル)として、研究プロジェクトの育成に携わり、実際に各地のデジタル・アーカイブを実現した。具体的には、ロンドン大学 SOAS(東洋アフリカ研究院)でのデジタル・アーカイブ・ワークショップの開催とそれに伴う所蔵資料のデジタル化、ベルギーのRoyal Museums of Art & History、UCLA、ロンドンのVictoria & Albert Museum(V&A)での所蔵資料のデジタル化などがある。この他に、スペイン・マドリッド・コンプルテンセ大学のPilar Cabañas 准教授と連携し、その都市にある諸機関所蔵の版画のデジタル化も進めた。

(4) データ駆動型研究を実現させる研究環境であるARCリサーチ・スペースの構築と更新

ARCリサーチスペースの新たなバージョンアップとして、時間軸と空間による3次元化したデジタル・アーカイブ・プラットフォーム(時間軸プラットフォームシステム(Mapping Chronology))の構築に関する検討を進めた。デジタルコンテンツエディティングツール(KINUKAKE)の実証利用を繰り返し実施した。

(5) AIやDeep Learningなどを利用した強力なデジタルツールの開発とARCリサーチ・スペースへの実装

AI類似画像検索機能とアノテーション機能のさらなる強化を進めた。

(6) 現実の研究活動空間とARCリサーチ・スペースのデジタルツイン実現による、研究プロジェクトのARCリサーチ・スペースへの誘導

利用者がよりデジタルツインの有効性を感じ取れるように、細部の機能強化を実施した。

(7) 次世代リサーチ・スペース「リサーチ・メタバース」の導入可能性の検証と環境整備

「リサーチ・メタバース」の具体像の明確化を目的に、6回にわたる研究会を開催した。

(8) 研究マネジメント力・研究実践力を養う若手研究者育成、将来の国際連携を視野に入れた若手研究者育成

学内補助金の獲得による様々な若手育成の仕組み、プログラムを拡張した。

上記の課題解決に向けたさまざまな事業の中で、デジタル化された多様かつ膨大な文化資源のデジタル・アーカイブが成長し、そこにビッグデータが形成され、処理・分析され、国際的な連携を伴って新たな総合知が創生される具体的な像と、次の課題を明確化できた。このプロセスにおいては、総合知のみならず、総合知を生み出す環境・手法をも同時に構築・成長させることになり、そこには、常に研究をデザインする発想が投入される。すなわち、日本文化研究・教育のDX(デジタル・トランスフォーメーション)を促進するものとなる。これにより、メタバースを取り入れたパブリック・ヒューマニティーズの構想をより具体化できた。

II. 拠点構成員の一覧（公開項目）※ページ数の制限は無し

本欄には、2023年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員協力研究員等の構成員を全て記載してください。区分が重複する場合は二重に記入せず、役割が上にあるものから優先し全て記載してください。また、若手研究者の条件に当てはまる場合は、若手研究者欄に記載をしてください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)

役割	氏名	所属	職位
研究所長・センター長	赤間 亮	文学部	教授
運営委員	赤間 亮	文学部	教授
	細井 浩一	映像学部	教授
	矢野 桂司	文学部	教授
	前田 亮	情報理工学部	教授
	木立 雅朗	文学部	教授
	高野 明彦	衣笠総合研究機構	招聘研究教員（客員教授）
	竹中 悠美	先端総合学術研究科	教授
	西林 孝浩	文学部	教授
	田中 覚	情報理工学部	教授
	西浦 敬信	情報理工学部	教授
	西林 孝浩	文学部	教授
	SEIFMAN Travis	衣笠総合研究機構	特別招聘研究教員（准教授）
	THAWONMAS Ruck	情報理工学部	教授
	山内 啓之	衣笠総合研究機構	特別招聘研究教員（准教授）
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	稲葉 光行	政策科学部	教授
	大田 壮一郎	文学部	教授
	加藤 政洋	文学部	教授
	河角 直美	文学部	准教授
	小寺 未知留	文学部	准教授
	斎藤 進也	映像学部	准教授
	島川 博光	情報理工学部	教授
	高野 明彦	衣笠総合研究機構	教授
	田中 聡	文学部	教授
	田中 弘美	OIC 総合研究機構	教授
	谷 徹也	文学部	准教授
	中村 彰憲	映像学部	教授
	花岡 和聖	文学部	准教授
	前田 亮	情報理工学部	教授
	三須 祐介	文学部	教授
	孟 林	理工学部	准教授
	矢野 健一	文学部	教授

	李 亮	情報理工学部	准教授	
学内の若手研究者	① 専門研究員・研究員			
	② リサーチアシスタント	武内 樹治	文学研究科	D1 (NEXT フェロー)
		安宅 望	文学研究科	博士課程後期課程
		武内 樹治	文学研究科	博士課程後期課程 (学振 DC)
		戸塚 史織	文学研究科	博士課程後期課程 (学振 DC)
		平野 理紗子	文学研究科	博士課程後期課程 (Next フェローシップ)
		寶生 紗樹	文学研究科	博士課程後期課程 (RARA 学生フェロー)
	③ 博士前期課程学生 (修士課程含む)	北岡沙映	文学研究科	博士課程前期課程
		井上萌来	文学研究科	博士課程前期課程
		石松智子	文学研究科	博士課程前期課程
		野村奏子	文学研究科	博士課程前期課程
		西堀優子	文学研究科	博士課程前期課程
		TAO Jin	文学研究科	博士課程前期課程
		坂本苑珠	文学研究科	博士課程前期課程
		中川今日子	文学研究科	博士課程前期課程
		北岡沙映	文学研究科	博士課程前期課程
		井上萌来	文学研究科	博士課程前期課程
		Chollakorn Nimpattanavong	情報理工学研究科	博士課程前期課程
		Pittawat Taveekitworachai	情報理工学研究科	博士課程前期課程
		Xiao You	情報理工学研究科	博士課程前期課程
		後藤 佳亮	情報理工学研究科	博士課程前期課程
		長谷川 稜介	情報理工学研究科	博士課程前期課程
		Shuang Zhao	情報理工学研究科	博士課程前期課程
		Siyuan Chen	情報理工学研究科	博士課程前期課程
		LI Yuanhao	情報理工学研究科	博士課程前期課程
		XU Linchun	情報理工学研究科	博士課程前期課程
		DENG Peng	情報理工学研究科	博士課程前期課程
井澤 幸平		情報理工学研究科	博士課程前期課程	
池崎 陽人		情報理工学研究科	博士課程前期課程	
内木 正太		情報理工学研究科	博士課程前期課程	
中野 隼汰		情報理工学研究科	博士課程前期課程	
DU Xinyu	情報理工学研究科	博士課程前期課程		
中西 清貴	情報理工学研究科	博士課程前期課程		
Ibrahim Khan	情報理工学研究科	博士課程前期課程		
Van Thai Nguyen	情報理工学研究科	博士課程前期課程		

	Lian Yu	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	田邊 准	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	LIU Zijian	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	YUAN Guangyuan	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	LIANG Jinhong	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	YANG Siyao	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	CHEN Xinyuan	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	大村 凜	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	古谷 康佑	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	廣瀬 彩乃	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	CHANMAS Gunt	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	Wira Marcel	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	WANG Yuhuan	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	CHO Kyungwon	映像研究科	博士課程前期課程
	ZHANG Yi	映像研究科	博士課程前期課程
	HAO Liwei	映像研究科	博士課程前期課程
	長谷川綾音	映像研究科	博士課程前期課程
	高松美紀	映像研究科	博士課程前期課程
	榎村麻里子	映像研究科	博士課程前期課程
	TONG Haorui	映像研究科	博士課程前期課程
④博士後期課程学生 (博士課程含む)	Fajar Dewantoro Mury	情報理工学研究科	博士課程後期課程
	Xiaoxu Li	情報理工学研究科	博士課程後期課程
	Febri Abdullah	情報理工学研究科	博士課程後期課程
	WANG Jiayun	情報理工学研究科	博士課程後期課程
	KHALTARKHUU Garmaabazar	情報理工学研究科	博士課程後期課程
	張 宇涛	情報理工学研究科	博士課程後期課程
	NGUYEN Binh Thien	情報理工学研究科	博士課程後期課程
	陳 鵬	情報理工学研究科	博士課程後期課程
	江川 琢真	情報理工学研究科	博士課程後期課程
	閻 彦橋	情報理工学研究科	博士課程後期課程
	常木佳奈	文学研究科	博士課程後期課程
	山本睦月	文学研究科	博士課程後期課程
	Fajar Dewantoro Mury	情報理工学研究科	博士課程後期課程
	荒木久貴	文学研究科	博士課程後期課程
	張 憲	先端総合学術研究科	一貫制博士課程
	嶋津 麻穂	先端総合学術研究科	一貫制博士課程
	荒木慎太郎	先端総合学術研究科	一貫制博士課程
	向江 駿佑	先端総合学術研究科	一貫制博士課程
	Wu Zewei	先端総合学術研究科	一貫制博士課程
	中村 由衣	先端総合学術研究科	一貫制博士課程 (Next フェローシップ)

	福井 優	文学研究科	博士課程後期課程
	蛭子 良風	文学研究科	博士課程後期課程
	落合 優翼	文学研究科	博士課程後期課程
	西澤 忠志	先端総合学術研究科	一貫制博士課程
⑤日本学術振興会特別研究員 (PD・RPD)			
その他の学内者 (補助研究員、授業担当講師・研 究生・研修生等)	尾鼻 崇	映像学部(立命館大学衣笠総合研 究機構客員研究員)	授業担当講師
	鈴木 桂子	文学部(立命館大学衣笠総合研 究機構プロジェクト研究員)	授業担当講師
客員協力研究員	木村 文則	尾道市立大学 経済情報学部	准教授
	石上 阿希	京都芸術大学 通信教育部芸 術学部	准教授
	田島 等	学校法人上田学園	理事
	山口 記弘	東映株式会社経営戦略部	フェロー
	佐古 愛己	佛教大学 歴史学部	教授
	高須 奈都子	大阪商業大学	非常勤講師
	谷 昇	立命館大学衣笠総合研究機構	客員研究員
	山本 真紗子	日本学術振興会	特別研究員(RPD)
	佐藤 弘隆	愛知大学地域政策学部	准教授
	瀬戸 寿一	駒澤大学 文学部 地理学科	准教授
	塚本 章宏	徳島大学大学院 社会産業理 工学研究部 社会総合科学域	准教授
	松岡 恵悟	立命館大学文学部 龍谷大学社会学部 京都女子大学 武庫川女子大学建築学部	非常勤講師
	本多 健一	-	-
	飯塚 公藤	近畿大学総合社会学部	准教授
	館野 まりみ	早稲田大学文学芸術院 美術 史科	非常勤講師
	米倉 迪夫	東京文化財研究所	名誉研究員
	杉浦 和子	京都大学大学院 文学研究科	教授
	Mohamed Soliman	National Research Institute of Astronomy and Geophysics (NRIAG)	Advisor of NRIAG President for Cultural Heritage
	岩切 友里子	-	-

大西 秀紀	京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター	客員研究員
亀田 和子	ハワイ・パシフィック大学 人文科学部美術史学	講師
MARCEAU Lawrence Edward	国際日本文化研究センター	連携共同研究員
中村 恵美	早稲田大学演劇博物館	招聘研究員
前崎 信也	京都女子大学 家政学部 生活造形学科	准教授
HAFT Alfred	Department of Asia, BRITISH MUSEUM	Curator
VESCO Silvia	Japanese Art History, Department of Asian and North African Studies, Ca' Foscari University of Venice	Professor
丸川 雄三	国立民族学博物館 人類基礎理論研究部	准教授
岩田 秀行	跡見学園女子大学文学部	名誉教授
廣瀬 千紗子	同志社女子大学	名誉教授
竹内 千代子	立命館大学文学部	非常勤講師
MIKES Marek	Seminar of Japanese Studies, Masaryk University	Assistant Professor
Annegret Bergmann	東京大学人文社会系研究科	特任准教授
津田 光弘	イパレット	代表
山路 正憲	デロイトーマツコンサルティング 合同会社	
土田 勝	日本電信電話株式会社 コミュニケーション科学基礎研究所	研究主任
矢野 明子	大英博物館アジア部	三菱商事キュレーター (日本コレクション)
CLARK Timothy Thorburn	Dept. of Asia, British Museum	Honorary Reseach Fellow
TINIOS Ellis	University of Leeds, School of History	Honrary Lecturer in History
岡本 隆明	京都府立京都学・歴彩館 資料課	課長補佐
井上 学	株式会社シティプランニング	顧問
東野 陸	立命館大学衣笠総合研究機構	プロジェクト研究員
峯岸 稔治		
河原 大	株式会社キャドセンター	

	鹿内 菜穂	亜細亜大学 経営学部 経営学科	准教授
	細井 尚子	立教大学異文化コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科	教授
	BINCSIK Monika	メロポリタン美術館	アソシエイト学芸員
	今井 将樹	大日本印刷株式会社 マーケティング本部アーカイブ事業推進ユニット事業開発第1部第1グループ	リーダー
	PELLECCHIA Diego	京都産業大学 文化学部 京都文化学科	准教授
	松葉 涼子	Sainsbury Institute for the Study of Japanese Arts and Cultures	Lecturer in Digital Japanese Arts and Humanities
	大矢 敦子	京都文化博物館 芸課映像・情報室	学芸員
	IEZZI Julie Ann	, Dept. of Theatre and Dance , University of Hawai'i at Mānoa	Professor and Associate Chair
	Alessandro BIANCHI	Bodleian Libraries(University of Oxford)	Manager of The Japanese Library Curator of Japanese rare books and manuscripts Bodleian Japanese Librarian
	Simon KANER	Sainsbury Institute for the Study of Japanese Arts and Cultures(SISJAC)	Executive Director
	HUBER Brigitte	Koller Auctions	Assistant
	高橋 千晶	同志社大学文学部	嘱託講師
	Qingfa Yang 楊清發	Sichuan Agricultural University, China	Associate professor
	金子 貴昭	京都先端科学大学人文学部歴史文化学科	准教授
	李威特(Li Weite)	重慶工商大学 情報工学部人工知能学科	専任講師
	永塚 憲治	公益財団法人研医会	研究員
	小島 一成	近畿大学産業理工学部情報学科	准教授

	加茂 瑞穂	武庫川女子大学 文学部 日本語日本文学科	助教
--	-------	----------------------	----

その他の学外者	小出治都子	大阪樟蔭女子大学学芸学部	専任講師
	久永 一郎	大日本印刷(株)	マーケティング本部室長
	山口 欧志	国立文化財機構奈良文化研究所	研究員
	森 敬洋	佛教大学	非常勤講師
	太田梨紗子	神戸大学大学院	博士後期課程
	Fadjar I. Thufail	インドネシア国立研究革新庁 (BRIN)	Director
	Upik Sarjiati	インドネシア国立研究革新庁 (BRIN)	Researcher
	Brahmantara	ボロブドゥール遺跡保存局	Researcher
	LOWOOD Henry	スタンフォード大学	大学図書館学芸員
	佐藤 泰裕	東京大学大学院	教授
	グッド 長橋 広行	ピッツバーグ大学図書館	日本・コリア研究司書
	長谷 憲一郎	駿河台大学	教授
	マッサ 美恵子	スタンフォード大学東アジア図書館	テクニカルサービス主幹/日本担当テクニカルサービス司書
	高野 光平	茨城大学	教授
	朝日 智雄	-	口絵研究家
	神楽岡 幼子	愛媛大学	教授
	瀧川 元気	(株)Studio-884.Pro	代表取締役
	菅沼 明正	九州産業大学	専任講師
	竹内 幸絵	同志社大学	教授
	太田 米男	(一社)京都映画芸術文化研究所	代表理事
	黒石 陽子	東京学芸大学	教授
	マルラ 俊江	カリフォルニア大学バークレー校	日本資料司書
	瀬川 結美	東京学芸大学附属図書館	総務部学術情報課
	鈴木 紗江子	ブリティッシュコロンビア大学	博士後期課程学生
	久保山 哲二	学習院大学	教授
	大島 桂史	大阪府立中之島図書館	主査
Joshua S. Mostow	The University of British Columbia	Professor	
角田 牧子	ノッティンガムトレント大学	博士号候補	

	山下 貴久子	Brown University	Associate Professor
	Xie Kai	Kenyon College	Assistant professor
	伊元 俊幸	尼崎市立歴史博物館	館長
	中村 充孝	ワシントン大学セントルイス 東アジア図書館	日本研究司書
	Konstantina Liagkou	Athens Technology Center	Research Assistant
	Matilde ARIAS	Historical Archive of the Air Force. Villaviciosa de Odón. Madrid (Spain)	Archive Technician
	Ana TRUJILLO	Universidad Pontificia Comillas, Faculty of Humanities and Social Sciences, Madrid (Spain)	Associate Professor
	Aitana MERINO	Complutense University of Madrid (Spain)	Freelance Ph.D. candidate
	Javier PÉREZ	The Library of the Faculty of Fine Arts at The Complutense University of Madrid (Spain)	Director
	Aryo Danusiri	National Research and Innovation Agency	Researcher
	平山 昇	神奈川大学国際日本学部	准教授
	嶋 理人	熊本学園大学経済学部	講師
	鈴木 勇一郎	川崎市市民ミュージアム	学芸部門学芸員
	草野 真樹	九州産業大学商学部	准教授
	土井 徹平	北九州市立大学経済学部	教授
	渡部邦昭	九州歴史資料館	学芸員
	林和樹	京都大学文学部	非常勤講師
	山崎翔平	秀明大学総合経営学部	助教
	高木良枝	長江家住宅	学芸員
	日向進	NPO 法人古材文化の会	会長
	根津 寿夫	徳島市立徳島城博物館	館長
	森脇 崇文	徳島市立徳島城博物館	学芸員
	井川 繭子	松竹大谷図書館	司書
	佐々木 絵理	松竹大谷図書館	司書
	村島 彩加	明治大学文学部	兼任講師
	原田 真澄	早稲田大学演劇博物館	助教
	武田 寿恵	明治大学理工学部	兼任講師
	杉本 竜	桑名市博物館	館長
	Susan L. Burns	シカゴ大学東アジア研究所	所長

	鍋島洋子	シカゴ大学東アジア研究所	Burns 教授付リサーチアシスタント
	齊藤 千恵	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	招聘研究員
	野口 隆	大阪学院大学経済学部	教授
	水田 かや乃	歌舞伎学会	会員
	桑原 久男	天理大学	教授
	國下 多美樹	龍谷大学	教授
	若林 邦彦	同志社大学	教授
	伊藤 淳史	京都大学	助教
	柴田 昌児	愛媛大学	教授
	田畑 直彦	山口大学	助教
	寺前 直人	駒澤大学	教授
	森 貴教	新潟大学	助教
	山本 亮	東京国立博物館	研究員
	宇佐美 智之	京都芸術大学	専任講師
	Wanda Listiani	Institut Seni Budaya Indonesia Bandung	
	Anrilia Ema M.N	"Universitas 17 Agustus 1945, Surabaya	Ph.D
	Ida Ayu Laksmita Sari	Universitas Udayana Bali	Doctor
	山本 真紗子	日本学術振興会	特別研究員 (RPD)
	上田 文	関西学院大学	非常勤講師
	並木 誠士	京都工芸繊維大学美術工芸資料館	館長
	青木 美保子	京都女子大学	教授
	杉浦 未樹	法政大学経済学部	教授
	石上 阿希	京都芸術大学	准教授
	瀧川 元気	株式会社 Studio-884.Pro	代表取締役
	辻 俊成	株式会社 ADDIX	アソシエイト
	荻田 みどり	舞鶴工業高等専門学校	准教授
	田良島 哲	アート・ドキュメンテーション学会	学会長
	本間 友	アート・ドキュメンテーション学会	学会幹事長
	楯石 もも子	アート・ドキュメンテーション学会	総務
	Eriko Tomizawa-Kay	University of East Anglia	Lecturer
	渡辺 恒一	彦根城博物館	副館長
	中川 敦之	栗東歴史民俗博物館	学芸員
	田口 幸滋	禅文化研究所	職員
	寺前 公基	(公財) 日本習字教育財団 観峰館	学芸員

松田 法子	京都府立大学	准教授
藤岡 換太郎	静岡大学	客員教授
福島 幸宏	慶應義塾大学	准教授
小野 映介	駒澤大学	教授
加納 靖之	東京大学	准教授
島本 多敬	滋賀県立琵琶湖博物館	学芸員
水野 敏明	滋賀県琵琶湖環境科学研究センター	主任研究員
片山 大輔	滋賀県立琵琶湖博物館	学芸員
八反地 剛	筑波大学生命環境系	准教授
瀬川 結美	東京学芸大学附属図書館	
檜山 裕子	立教女学院中学校・高等学校	
横山 美咲	東京学芸大学附属図書館	
美水 彩加	University of British Columbia	Assistant Professor of Teaching
久保山 哲二	学習院大学 学習院大学 計算機センター&人文科学研究科アーカイブズ学専攻	教授
前田 英作	東京電機大学	教授
坂本 比呂志	九州工業大学	教授
山本 章博	京都大学	教授
大島 桂史	大阪府立中之島図書館	
宇田田 陽子	大阪府立中之島図書館	
絹川 紘平	大阪府立中之島図書館	
Joshua S. Mostow	Department of Asian Studies, The University of British Columbia	Professor
喜多山 知子	Library, UBC, Japanese Studies	Librarian
角田 牧子	ノッティンガムトレント大学	
山下 貴久子	Brown University	Associate Professor
桃谷 和則	尼崎市立歴史博物館	係長・学芸員
河野 未央	尼崎市立歴史博物館	係長
室谷 公一	尼崎市立歴史博物館	主任・学芸員
伏谷 優子	尼崎市立歴史博物館	主任・学芸員
楞野 一裕	尼崎市立歴史博物館	学芸員
服部 早希	尼崎市立歴史博物館	学芸員
西村 豪	尼崎市立歴史博物館	行政事務職員
Jamie Newhard	ワシントン大学セントルイス	教員
米倉 迪夫	東京文化財研究所	名誉研究員
新名 佐知子	秩父宮記念スポーツ博物館	学芸員

	村上佳奈子	秩父宮記念スポーツ博物館	学芸員
	高橋 京子	国立音楽大学	
	南 清恵	ホノルル美術館	リサーチアソシエイト
	恒次 知美	専修大学図書課	課長
	中田 真美子	専修大学図書課	課長補佐
	阿部 美穂子	専修大学図書課	主任
	窪田 藍	専修大学図書課	主任
	吉田 修	築地双六館	館長
	土肥正和	築地双六館	館員
	中村充孝	ハワイ大学マノア校図書館	司書
	Pier Carlo Tommasi	ハワイ大学マノア校	教員
	山下 貴久子	Brown University	Associate Professor
	桃谷 和則	尼崎市立歴史博物館	係長・学芸員
	河野 未央	尼崎市立歴史博物館	係長
	室谷 公一	尼崎市立歴史博物館	主任・学芸員
	伏谷 優子	尼崎市立歴史博物館	主任・学芸員
	楞野 一裕	尼崎市立歴史博物館	学芸員
	服部 早希	尼崎市立歴史博物館	学芸員
	西村 豪	尼崎市立歴史博物館	行政事務職員
	Jamie Newhard	ワシントン大学セントルイス	教員
	米倉 迪夫	東京文化財研究所	名誉研究員
	新名 佐知子	秩父宮記念スポーツ博物館	学芸員
	村上佳奈子	秩父宮記念スポーツ博物館	学芸員
	高橋 京子	国立音楽大学	
	南 清恵	ホノルル美術館	リサーチアソシエイト
	恒次 知美	専修大学図書課	課長
	中田 真美子	専修大学図書課	課長補佐
	阿部 美穂子	専修大学図書課	主任
	窪田 藍	専修大学図書課	主任
	吉田 修	築地双六館	館長
	土肥正和	築地双六館	館員
	中村充孝	ハワイ大学マノア校図書館	司書
	Pier Carlo Tommasi	ハワイ大学マノア校	教員
研究所等構成員	計 330 名	(うち学内の若手研究者 計 78 名)	

Ⅲ. 研究業績 (公開項目)

※ページ数の制限は無し ※to be published,の状態の業績は記載しないで下さい。

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2023年3月31日時点)
また、書式Bの研究業績欄との二重記載をお願いいたします。

1. 著書							
No	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著 の別	発行年月	発行所、発表雑誌（及び 巻・号数）等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	矢野桂司	地理がわかれば世界がわかる！ すごすぎる地理の図鑑	共著	2023年5月	KADOKAWA	編・著：山本健太、長谷川直子 著：宇根 寛、平野 淳平、矢野桂司、秋山千亜紀、宋 苑瑞	14項目
2	矢野桂司	地図・時空間情報	分担執筆	2023年7月	丸善出版日本図書館情報学会編『図書館情報学事典』	—	pp. 364-367
3	赤間亮	デジタルアーカイブ・ベーシック ス「共振するデジタル人文学とデジタルアーカイブ」 ：デジタル・ヒューマニティーズ とデジタルアーカイブ	分担執筆	2023年7月	勉誠出版	赤間 亮	pp. 3-24
4	赤間亮	演劇資料	単著	2023年7月	丸善出版日本図書館情報学会編『図書館情報学事典』	赤間亮	pp. 396-397
5	田中覚	可視化と科学・文化・社会（コロナ社・メディアテクノロジーシリーズ 3）	共著	2023年9月	コロナ社	竹島由里子（編），伊藤 貴之（著），宮地英生（著），田中覚（著）	第3章（71P分）
6	細井浩一	DXデジタルトランスフォーメーション事例100選	共著	2023年11月	エヌ・ディー・エス	鈴木淳一	pp. 18-26
7	加藤政洋	京都食堂探究	共著	2023年11月	筑摩書房	加藤政洋・〈味覚地図〉研究会	—
8	河角直美	京都食堂探究	共著	2023年11月	筑摩書房	加藤政洋・〈味覚地図〉研究会（河角直美ほか）	—
9	小寺未知留	『音楽と心の科学史—音楽学と心理学が交差するとき』	共編著	2023年4月	春秋社	西田紘子ほか	pp. 21-57 （共著）、 pp. 155-179 （単著）
10	谷徹也	谷徹也「織豊政権論」 『日本近世史入門』	共著	2024年2月	勉誠社	上野大輔、清水光明、三ツ松誠、吉村雅美	pp. 63-81
11	谷徹也	谷徹也「『豊臣の平和』と壬辰戦争」『日本近世史を見通す』1列島の平和と統合	共著	2023年9月	吉川弘文館	牧原成征、村和明	pp. 37-63
12	三須祐介	『亡霊の地』	単訳	2023年5月	早川書房	陳思宏著	—

13	三須祐介	中国語現代文学案内 中国、台湾、香港ほか	分担執筆	2024年3月	ひつじ書房	栗山千香子・上原かおり編	pp. 58-59, pp. 94-95
14	稲葉光行	Grounded Text Mining Approach: An Integration Strategy of Grounded Theory and Textual Data Mining	共著	2023年 9月	SAGE In C. Poth (Ed.), SAGE Handbook of Mixed Methods Research Design	Hisako Kakai	pp. 328-345
15	川嶋将生	清水寺 成就院日記第8巻	共同校訂	2024年3月	法蔵館	下坂 守他9名	pp. 416
16	石上阿希	『「ひと」とはだれか?: 身体・セクシュアリティ・暴力』	共著	2024年2月	大阪大学出版会	三成, 美保, 小浜, 正子, 鈴木, 則子 (編)	—
17	石上阿希	『和本図譜: 江戸を究める』	共著	2023年10月	文学通信	日本近世文学会	用語解説・第二部コーディネーター
18	石上阿希	『日本近世史を見通す 6 宗教・思想・文化』	共著	2023年10月	吉川弘文館	上野, 大輔, 小林, 准士 (編)	pp. 159-163
19	井川繭子	艶やかに 尾上菊五郎聞き書き (尾上菊五郎年譜)	共著	2023年11月	毎日新聞出版	小玉祥子	pp. 237-310
20	佐々木絵理	艶やかに 尾上菊五郎聞き書き (尾上菊五郎年譜)	共著	2023年11月	毎日新聞出版	小玉祥子	pp. 237-310
21	武藤祥子	艶やかに 尾上菊五郎聞き書き (尾上菊五郎年譜)	共著	2023年11月	毎日新聞出版	小玉祥子	pp. 237-310
22	館野まりみ	女かぶき図の研究	単著	2024年3月	思文閣出版	—	—
23	大西秀紀	大西秀紀「大阪四花街のレコード」『「大大阪」が育んだ芸能』	共著	2024年3月	清文堂出版	笠井純一、笠井津加佐、塚原康子、橋爪節也、山田和人、佐藤恵	pp. 350-357
24	Lawrence E. MARCEAU	浮世絵にみる妊産婦と胎児の身体イメージ Maternal Health and Images of the Body in Japanese Ukiyo-e 浮世絵中の孕産婦和胎児の身体形象	共著	2024年3月	国際日本文化研究センター	安井眞奈美、ローレンス・マルソー、坂坂則子、李・奕諄・クラレンス、坂知尋	執筆46~50頁 英訳監修責任及び和文校閲責任は1~60頁
25	中村恵美	『八代目市川团十郎画像資料集』IV、V	単著	2023年5月、 2024年3月	私家版	—	—
26	前崎信也	『KOGEI Next Exhibition 2023 図録』	共著 (監修)	2024年3月	KANEGAE、株式会社クロスステック・マネジメント	大竹亮峯、織田隼生、佐故龍平、佐藤裕一郎、野口寛斉、本郷真也、松本涼、満田晴徳	—
27	前崎信也	<i>Colors of Kyoto: The Seifū Yohei Ceramic Studio</i>	共著	2023年9月	Giles	Sin�ad Vilbar	—

28	竹内千代子	『花供養』翻刻集成Ⅲ —蒼虬(2) 千崖 朝陽の 時代 文政十一年～天保 十一年 —	単著	2024年1月	私家版	竹内千代子	—
29	竹内千代子	落柿舎義仲寺 井上重厚 年譜発句稿	単著	2024年2月	私家版	竹内千代子	—
30	Timothy T CLARK	<i>Late Hokusai: Society, Thought, Technique, Legacy (British Museum Research Publication 231</i>	共著	2023年7月	British Museum	—	—
31	Ellis TINIOS	Chapter 5. ‘The Publisher Tōhekiō (Eirakuya Tōshirō) and the Hokusai “Brand” ’ in Late Hokusai: Society, Thought, Technique, Legacy	単著	2023年	British Museum Research Publications 231	Timothy CLARK, editor	pp. 71-88
32	Ellis TINIOS	Appendix 1. ‘A Chronological List of Late Hokusai Books with Short Bibliographic Notes’ in Late Hokusai: Society, Thought, Technique, Legacy	単著	2023年	British Museum Research Publications 231	Timothy CLARK, editor	pp. 258-271
33	Ellis TINIOS	Chapter 1. ‘Kusazōshi as Material Objects’ in Graphic Narratives from Early Modern Japan: The World of Kusazōshi.	単著	2024年	Brill	Laura Moretti & Sato Yukiko, eds.	pp. 49-83
34	細井尚子	東アジア文化圏の大衆的 芸態における近代化・グ ローバル化の旅路	編著	2024年3月	立教大学アジア地域研究所 https://rikkyo.repo.nii.a c.jp/search?page=1&size=5 0&sort=custom_sort&search _type=2&q=1710995520908	水野多恵子、後藤隆 基、中野正昭、宮信 明、簡秀珍、輪島裕 介、王楽水、張啟 豊、海震、李思 漢、林子竝、徐亞 湘、羅仕龍、洪栄 林	pp. 111-145
35	細井尚子	戦時下の演劇 国策劇・ 外地・収容所	共著	2023年11月	神山彰編、森話社、担当 「東アジアの女子レビュー ユ—中国・韓国・台湾」	神山彰、日比野啓、 小針侑起、瀬戸宏、 間ふさ子、金牡丹、 佐藤和道、中野正 昭、畑中小百合	pp. 241-268

36	松葉涼子	Mad about Painting	単著	2023年5月	David Zwirner Books	—	—
37	永塚憲治	『素女妙論』（京大人文研科学史資料叢書 10）	単著	2023年7月	臨川書店	—	—
38	加茂瑞穂	『近代のきものがみた夢』	共著	2023年10月	武庫川女子大学附属総合ミュージアム	池田仁美・梅谷知世・大久保尚子・加茂瑞穂・伊永陽子・平法子・並木晴香・樋口温子・藤本純子・村田裕子・横川公子	P. 11、20、36
39	井上明人	未来社会と「意味」の境界：記号創発システム論／ネオ・サイバネティクス／プラグマティズム	共著（編著）	2023年8月	勁草書房	谷口 忠大, 河島 茂生	pp. 221-222
40	井上明人	日中韓のゲーム文化論	共著（分担執筆）	2023年3月	新曜社	楊駿驍, 鄧劍, 松本健太郎	pp. 209-226
41	平山昇	読んで観て聴く 近代日本の仏教文化	共著	2024年3月	法藏館	森寛, 大澤絢子	pp. 202-228
42	黒石陽子	江戸の絵本読解マニュアル 「流行語が大活躍・・・『[にはいふくろ]』」	共著	2023年4月	文学通信	石田智也、内ヶ崎有里子、奥田粹ノ介、加藤康子、佐藤智子、杉本紀子、瀬川結美、手塚翔斗、檜山裕子、細谷敦仁、森節男	pp. 122 - 125
43	黒石陽子	江戸の絵本読解マニュアル 「長編を読み解く・・・『通俗三国志』」	共著	2023年4月	文学通信	石田智也、内ヶ崎有里子、奥田粹ノ介、加藤康子、佐藤智子、杉本紀子、瀬川結美、手塚翔斗、檜山裕子、細谷敦仁、森節男	pp. 186 - 191
44	黒石陽子	江戸の絵本読解マニュアル 「一代記を読み解く・・・『義経一代記』」	共著	2023年4月	文学通信	石田智也、内ヶ崎有里子、奥田粹ノ介、加藤康子、佐藤智子、杉本紀子、瀬川結美、手塚翔斗、檜山裕子、細谷敦仁、森節男	pp. 192 - 197
45	黒石陽子	江戸の絵本読解マニュアル 「草双紙ならではの読み方・・・『鐘銘 道成寺根元記』」	共著	2023年4月	文学通信	石田智也、内ヶ崎有里子、奥田粹ノ介、加藤康子、佐藤智子、杉本紀子、瀬川結美、手塚翔斗、檜山裕子、細谷敦仁、	pp. 204 - 209

						森節男	
46	黒石陽子	『歌舞伎評判記集成 第三期』第七巻	共著	2024年2月	和泉書院	赤間亮、新井恵、神楽岡幼子、金子貴昭、倉橋正恵、黒石陽子、齊藤千恵、佐藤かつら、田草川みずき、野口隆、水田かや乃、光延真哉	pp. 11-34 pp. 413-414
47	武田寿恵	日本のブロードウェイ・ミュージカル60年	単著	2024年6月	小鳥遊書房	—	—
48	青木美保子	服の、先へ。ファッションヒストリー編1850-2020	共著	2023年9月	学校法人 日本教育財団	監修：成実弘至	pp. 124-127
49	大場修	付属屋と小屋の建築誌-もう一つの民家の系譜-	編著	2024年3月	鹿島出版会	大場 修、平尾和洋、青柳憲昌	—
50	大場修	南越前町今庄宿伝統的建造物群保存地区修景デザインマニュアル	編著	2024年3月	南越前町教育委員会	大場 修、福井宇洋	—
51	大場修	亀岡旧城下町地区-伝統的建造物群保存対策調査報告書-	編著	2024年3月	亀岡市	大場 修、平尾和洋、青柳憲昌、木村智	—
52	杉本竜	これから学芸員をめざす人のために	単著	2023年7月	創元社	—	—
53	松田法子	『戦後空間史 一都市・建築・人間』	共著	2023年3月	筑摩書房	戦後空間研究会	pp. 238-284

2. 論文								
No	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	前田亮	Sentence Pair Augmentation Approach for Grammatical Error Correction	共著	2023年4月	Springer-Verlag, Computational Intelligence for Engineering and Management Applications — Select Proceedings of CIEMA 2022, Lecture Notes in Electrical Engineering 984	Ryoga Nagai and Akira Maeda	pp. 625-633	有

2	前田亮	Developing a Multimodal Database of Digital Archives for Cultural Heritage Sites - a Case of Digitally Preserving the Borobudur Temple of Indonesia	共著	2023年12月	The International Archives of the Photogrammetry, Remote Sensing and Spatial Information Sciences XLVIII-1/W2-2023	Biligsaikhan Batjargal, Jiao Pan, Shenyu Ji, Liang Li, Hiroshi Yamaguchi, Kyoko Hasegawa, Takahiro Nishibayashi, Akira Maeda, Upik Sarjiati, Fadjar I. Thufail, Brahmantara Brahmantara, and Satoshi Tanaka	pp. 713-720	有
3	前田亮	Text Classification of Modern Mongolian Legal Documents Using BERT Models	共著	2023年12月	World Scientific, International Journal of Asian Language Processing 33(3)	Garmaabazar Khaltarkhuu, Biligsaikhan Batjargal, and Akira Maeda	2350020 (22 pages)	有
4	前田亮	MultArtRec: A Multimodal Neural Topic Modeling for Integrating Image and Text Features in Artwork Recommendation	共著	2024年1月	MDPI, Electronics 13(2)	Jiayun Wang, Akira Maeda, and Kyoji Kawagoe	302 (21 pages)	有
5	前田亮	Recognizing Textual Inference in Mongolian Bar Exam Questions	共著	2024年1月	MDPI, Applied Sciences 14(3)	Garmaabazar Khaltarkhuu, Biligsaikhan Batjargal, and Akira Maeda	1073 (18 pages)	有
6	矢野桂司	京都の歴史をGISで読む	単著	2023年5月	地図情報 165	—	pp. 8-12	招待
7	矢野桂司	日本学術会議による地名問題の取り組み	共著	2023年11月	古今書院地理 68(11)	高木彰彦・矢野桂司	pp. 12-21	無
8	矢野桂司	ジオデモグラフィクスからみた将来空き家の都市圏比較	共著	2023年11月	都市計画論文集 58(2), 153-160 58(2)	上杉昌也, 上村要司, 矢野桂司	pp. 153-160	有
9	矢野桂司	[C21] メモリーグラフ: 同一構図撮影を支援するカメラアプリによるフィールドワークの展開	共著	2023年11月	デジタルアーカイブ学会誌 7(S2)	北本朝展, 高橋彰, 矢野桂司, 佐藤弘隆, 河角直美, 西村陽子	pp. 130-133	有

10	矢野桂司	Japanese Studies Spotlight: The CDDP Great Kantō Earthquake Project: A Collaborative Mapping Project	共著	2023年11月	North American Coordinating Council on Japanese Library Resources 北米日本研究 資料調 整協議会	"Toshie Marra, Muneyuki Natsume and Keiji Yano"	—	招待
11	矢野桂司	Spatiotemporal analysis of cities using spatial big data centered on human flow data: Case study of Kyoto City during the COVID-19 pandemic	単著	2024年 3月	Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University 59	—	pp. 119-126	無
12	木立雅朗	五条坂京焼登り窯 (旧藤平) の発掘調 査と三次元計測	単著	2023年6月	立命館大学考古学研究報 告 1	—	pp. 1-3	無
13	木立雅朗	遺跡の上で暮らす— 歴史都市京都におけ る近現代遺跡の保存 と活用を中心に—	単著	2024年1月	文化財保存全国協議会、 明日への文化財90号	—	pp. 4-21	無
14	田中覚	Application of 3D Scanned Big Data of Large-scale Cultural Heritage Objects Based on Noise-robust Transparent Visualization	単著	2023年8月	China Simulation Federation, Journal of System Simulation, vol. 35 (8)	Satoshi Tanaka	pp. 1635-16 50	有
15	田中覚	Developing a Multimodal Database of Digital Archives for Cultural Heritage Sites - A Case of Digitally Preserving the Borobudur Temple of Indonesia	共著	2023年 9月	International Society for Photogrammetry and Remote Sensing, The International Archives of the Photogrammetry, Remote Sensing and Spatial Information Sciences, vol. XLVIII- 1/W2-2023 XLVIII-1/W2- 2023	B. Batjargal, J. Pan, Sh . Ji, L. Li, H. Yamaguchi, K. Hasegawa, T. Nishibayashi, A. Maeda, U. Sarjiati, F. I. Thufail ,Brahmanta ra, S. Tanaka	pp. 713-720	招待
16	田中覚	Edge highlighting of laser-scanned point clouds improves the accuracy of perceived depth in transparent multi-	共著	2024年 2月	World Scientific, International Journal of Modeling, Simulation, and Scientific Computing, vol. 15 (1)	Daimon Aoi, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Yuichi Sakano, Naohisa Sakamoto, Satoshi Tanaka	2450021	有

		view 3D visualizations						
17	西浦敬信	Movable virtual sound source construction based on wave field synthesis using a linear parametric loudspeaker array	共著	2023年4月	APSIPA Transactions on Signal and Information Processing, Vol. 12, No. 3, e14.	Yuting Geng, Shiori Sayama, Masato Nakayama, and Takanobu Nishiura,	12(3), e14	有
18	西林孝浩	韓休墓考——墓室西壁壁画と墓室霊座の検討	単著	2023年11月	『中国美術史の眺望—中国美術史研究会論集—』(曾布川寛・宇佐美文理編)	—	pp. 79-98, pp. 311-312	無
19	西林孝浩	Developing a Multimodal Database of Digital Archives for Cultural Heritage Sites - a Case of Digitally Preserving the Borobudur Temple of Indonesia	共著	2023年12月	The International Archives of the Photogrammetry, Remote Sensing and Spatial Information Sciences, Volume XLVIII-1/W2-2023	Biligsaikhan Batjargal, Jiao Pan, Shenyu Ji, Liang Li, Hiroshi Yamaguchi, Kyoko Hasegawa, <u>Takahiro Nishibayashi</u> , Akira Maeda, Upik Sarjiati, Fadjar I. Thufail, Brahmantara, and Satoshi Tanaka	pp. 713-720	有
20	SEIFMAN, Travis	「江戸城お目見え儀礼における琉球国使者の朝貢使や家臣としてのアイデンティティパフォーマンス」国際ARCセミナー報告	単著	2024年3月	ART RESEARCH 24-3	—	pp. 201-202	無
21	SEIFMAN, Travis	A Real Thing that Exists Only in Shuri: Ryukyuan Arts Traditions & Memory at Shurijo Castle Park	単著	2024年2月	Transposed Memory: Visual Sites of National Recollection in Twentieth and Twenty-first Century East Asia	Alison Miller と Eunyoung Park (編)	pp. 164-181	有
22	THAWONMAS Ruck	eXtended meta-uni-omni-Verse (XV): Introduction, Taxonomy, and	共著	2023年6月	IEEE Consumer Electronics Magazine	Steve Mann, Yu Yuan, Fabrizio Lamberti, Abdulmotaleb El Saddik, Ruck	pp. 1-9	有

		State-of-the-Art				Thawonmas, Filippo Gabriele Prattico		
23	THAWONMAS Ruck	Virtual Gym with Juicy Effects: A Study in Engaging Serious Silver Games	共著	2023年8月	Proc. of Replaying Japan, Nagoya	Victor Fernandez-Cervantes, Eleni Stroulia, Ruck Thawonmas, You Xiao, Febri Abdullah,	—	有
24	THAWONMAS Ruck	Preventing Cheating in an Audience Participation Game by Adding a Virtual Moderator	共著	2023年8月	Art Research CenterART RESEARCH 24(2)	Roman Savchyn, Febri Abdullah, Ruck Thawonmas	pp. 139-150	無
25	THAWONMAS Ruck	What Is Waiting for Us at the End? Inherent Biases of Game Story Endings in Large Language Models	共著	2023年10月	SpringerProc. of the 2023 International Conference on Interactive Digital Storytelling (ICIDS 2023)	Pittawat Taveekitworachai, Febri Abdullah, Mustafa Can Gursesli, Mury F. Dewantoro, Siyuan Chen, Antonio Lanata, Andrea Guazzini, Ruck Thawonmas	pp. 274-284	有
26	THAWONMAS Ruck	Breaking Bad: Unraveling Influences and Risks of User Inputs to ChatGPT for Game Story Generation	共著	2023年10月	SpringerProc. of the 2023 International Conference on Interactive Digital Storytelling (ICIDS 2023)	Pittawat Taveekitworachai, Febri Abdullah, Mustafa Can Gursesli, Mury F. Dewantoro, Siyuan Chen, Antonio Lanata, Andrea Guazzini, Ruck Thawonmas	pp. 285-296	有
27	THAWONMAS Ruck	Analyzing Audience Comments: Improving Interactive Narrative with ChatGPT	共著	2023年10月	SpringerProc. of the 2023 International Conference on Interactive Digital Storytelling (ICIDS 2023)	Xiaoxu Li, Xiao You, Siyuan Chen, Pittawat Taveekitworachai, Ruck Thawonmas	pp. 220-228	有

28	THAWONMAS Ruck	The Chronicles of ChatGPT: Generating and Evaluating Visual Novel Narratives on Climate Change Through ChatGPT	共著	2023年10月	SpringerProc. of the 2023 International Conference on Interactive Digital Storytelling (ICIDS 2023)	Mustafa Can Gursesli, Pittawat Taveekitworachai, Febri Abdullah, Mury F. Dewantoro, Antonio Lanata, Andrea Guazzini, Van Khôi Lê, Adrien Villars, Ruck Thawonmas	pp. 181-194	有
29	THAWONMAS Ruck	Enhancing Novelty in ChatGPT Responses: Incorporating Random Word Brainstorming	共著	2023年12月	ACMProc. of the 13th International Conference on Advances in Information Technology (IAIT2023)	Pittawat Taveekitworachai and Ruck Thawonmas	pp. 1-7	有
30	THAWONMAS Ruck	Minecraft Video Aesthetics Quality Assessment Model	共著	2023年12月	ACMProc. of the 13th International Conference on Advances in Information Technology (IAIT2023)	Ryosuke Hasegawa, Lian Yu, Jun Tanabe and Ruck Thawonmas	pp. 1-5	有
31	THAWONMAS Ruck	ChatGPT4PCG Competition: Character-like Level Generation for Science Birds	共著	2023年12月	IEEEProc. of 2023 IEEE Conference on Games	Pittawat Taveekitworachai, Febri Abdullah, Mury F Dewantoro, Ruck Thawonmas, Julian Togelius, and Jochen Renz	pp. 1-8	有
32	THAWONMAS Ruck	VR Rhythm Game Featuring Audience Participation	共著	2024年1月	IEEEProc of 2023 IEEE Games, Entertainment, Media Conference	Van Khoi Le, Adrien Villars, Febri Abdullah, Mustafa Can Gursesli, Xiao You, S. Román Lara E. de los M., Ruck Thawonmas, Victor Fernandez-Cervantes, Eleni Stroulia	pp. 1-4	有
33	THAWONMAS Ruck	Audience participation fighting game: Exploring social facilitation for an enhanced APG experience	共著	2024年1月	Cell PressHeliyon 10(2)	Pujana Paliyawan, Ruck Thawonmas, Kingkarn Sookhanaphibarn, Worawat Choensawat	pp. 1-14	有

34	THAWONMAS Ruck	Journey of ChatGPT from Prompts to Stories in Games: the Positive, the Negative, and the Neutral	共著	2024年1月	IEEEProc. of the 13th International Conference on Consumer Electronics (ICCE-Berlin)	Pittawat Taveekitworachai, Mustafa Can Gursesli, Febri Abdullah, Siyuan Chen, Federico Cala, Andrea Guazzini, Antonio Lanata, Ruck Thawonmas	pp. 202-203	有
35	THAWONMAS Ruck	Web-Agile Facial Emotion Recognition and Eye-Tracking System (WAFER-ET)	共著	2024年1月	IEEEProc. of the 13th International Conference on Consumer Electronics (ICCE-Berlin)	Mustafa Can Gursesli, Federico Cala, Febri Abdullah, Ruck Thawonmas, Mirko Duradoni, Andrea Guazzini, Antonio Lanata	pp. 147-148	有
36	山内啓之	地形教育のための空撮全天球画像を用いた教材の開発と評価	共著	2023年8月	新地理 71(2)	小倉拓郎, 中村洋介, 宋佳麗, 小口高	pp. 1-11	有
37	山内啓之	Effects of web geographic information system (GIS) technology and curriculum approaches on education for disaster risk reduction	共著	2023年11月	Natural Hazards and Earth System Sciences 23(11)	Jiali Song, Takashi Oguchi, Takuro Ogura, Yosuke Nakamura, Jipeng Wang	pp. 3617-3634	有
38	大田 壮一郎	藤井永観文庫所蔵 相覚撰・聖通伝領「古口決抄鈔出」について	単著	2023年11月	立命館大学アート・リサーチセンター『紀要 アート・リサーチ』24巻2号	—	pp. 1-5	無
39	加藤政洋	京都における建物疎開と料理屋文化の系譜	共著	2024年3月	立命館大学, 立命館文 学, 688号	河角直美・宮原佑成・ 加藤政洋	pp. 1-19	無
40	加藤政洋	「鴨川右岸の銷金窩-《上木屋町》の文学景観素描-」	単著	2024年1月	立命館大学, 立命館文 学, 687号	—	pp. 39-52	無
41	加藤政洋	「1950年代沖縄における基地建設と本土建設業者-隅田建設を中心に-」	単著	2023年11月	立命館大学, 立命館文 学, 686号	—	pp. 1-17	無
42	加藤政洋	「大阪〈バイエリア〉叙景-人工島EXPOへの文学的道	単著	2023年11月	岩波書店, 世界, 975号	—	pp. 60-67	無

		標						
43	加藤政洋	「《祇園町》の空間 変容」	単著	2023年8月	高木博志編『近代京都と 文化「伝統」の再構築』 思文閣	—	pp. 21-45	無
44	河角 直美	京都における建物疎 開と料理屋文化の系 譜	共著	2024年3月	立命館大学〇〇研究所, 立命館文學, 688号	河角直美・宮原佑成・ 加藤政洋	pp. 655-673	無
45	小寺未知留	「坂本龍一はサウン ド・アーティストで はない／でもある」	単著	2023年11月	『ユリイカ』2023年12月 臨時増刊号	—	pp. 263-270	無
46	小寺未知留	What Max Neuhau Called “Music”	単著	2024年3月	<i>The Japanese Society for Aesthetics, No. 28</i>	—	pp. 28-38	有
47	斎藤進也	私であって私でない 存在-ビデオゲームの プレイヤーはプレイ ヤーキャラクターを どう認識しているの か	共著	2024年3月	立命館映像学会, 立命館 映像学, 17	高松美紀	pp. 63-105	有
48	島川博光	Estimation of Differences in Work Attitudes by National Character from Psychological Change Points,	共著	2024年2月	Advances in Social Sciences Research Journal,	Koki Matsuno	pp. 237-258	有
49	谷徹也	谷徹也「豊臣政権の 公儀普請と課役負担 —「手伝」と「国 役」をめぐる—」	単著	2022年4月	『織豊城郭』21	—	pp. 127-142	無
50	三須祐介	台湾現代文学のなか の「 鬼」の形象：陳思宏 『亡 霊の地』と台湾にお ける 鬼月の観察を手がかりに	単著	2023年9月	立命館大学国際言語文化 研究所立命館言語文化研 究 35(1)	—	pp. 1-9	無
51	三須祐介	書評 濱田麻矢『少女 中国 ：書かれた女学生と 書く 女学生の百年』	単著	2023年9月	日本現代中国学会現代中 国 (97)	—	pp. 110-115	無

52	孟林	An Unsupervised Automatic Organization Method for Professor Shirakawa's Hand-Notated Documents of Oracle Bone Inscriptions	共著	2024年3月	International Journal on Document Analysis and Recognition	Xuebin Yue, Ziming Wang, Ryuto Ishibashi, Hayata Kaneko	pp. 1-19	有
53	孟林	Early Japanese Books Organization and Spatiotemporal Database System Creation for Natural Disaster Analysis	共著	2024年1月	Heritage Science, Springer, Vol. 12, No. 14, pp. 1-20,	Bing Lyu, Xuebin YUE,	pp. 1-20	有
54	孟林	Deteriorated Characters Restoration for Early Japanese Books using Enhanced CycleGAN	共著	2023年5月	Heritage, MDPI, Vol. 6, No. 5, pp. 4345-4361, 2023	Hayata Kaneko, Ryuto Ishibashi	pp. 1-17	有
55	矢野健一	土器量からみた人口動態研究の意義—京都市左京区京都大学構内遺跡群の事例研究	共著	2024年3月	立命館大学環太平洋文明研究センター、環太平洋文明、8	Corey Tyler NOXON	pp. 79-90	無
56	矢野健一	三内丸山遺跡出土の円筒下層式に伴う枝回転文土器の原体樹種	単著	2024年3月	三内丸山遺跡センター、特別史跡三内丸山遺跡研究紀要、5	—	pp. 34-47	無
57	矢野健一	京大構内遺跡群の人口動態	単著	2024年3月	京都大学総合博物館、2023年度企画展 文化財発掘X 比叡山麓の縄文世界	—	p. 60	無
58	李亮	Does prior knowledge increase or decrease perceived visual complexity of texture images?	共著	2023年4月	Heliyon, vol. 9, iss. 4	Liang Li, Woong Choi,	e15559	有
59	李亮	Edge highlighting of laser-scanned point clouds improves the accuracy of perceived depth in	共著	2024年2月	International Journal of Modeling, Simulation, and Scientific Computing, Vol. 15, No. 01	Daimon Aoi, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Yuichi Sakano, Naohisa Sakamoto, and Satoshi Tanaka	2450021 (19 pages)	有

		transparent multi-view 3D visualizations						
60	佐古愛己	「東坊城家蔵書目録（補遺）と東坊城任長」	単著	2024年3月	佛教学部歴史学部、『佛教学部歴史学部論集』14号	佐古愛己	pp. 77-90	無
61	佐古愛己	「書評 明治大学除目書刊行委員会編(田島公・末柄豊・牧野淳司・南保勝美)『明治大学図書館所蔵 三条西家本 除目書』」	単著	2023年6月	史学会、『史学雑誌』第132編6号	佐古愛己	pp. 1003-1014	無
62	森岡秀人	阪神地方枢要部の「権力核」的地域形成過程をめぐる一考察—古墳時代首長系譜の様相から古代前半期の官衙領域確立に向けて—	単著	2024年2月	『古代学と遺跡学—坂靖さん追悼論文集—』坂靖さん追悼論文集刊行会	—	Pp349-360	無
63	森岡秀人	土器の出入りや影響とその移動問題をめぐる歩き野帳雑考	単著	2023年12月	『古墳出現期毒研究』第10号、古墳出現期土器研究会	—	Pp127-147	無
64	森岡秀人	集落研究と古墳研究	単著	2023年9月	『埴輪生産からみた地域社会の展開』古代学研究会	—	Pp249-261	無
65	森岡秀人	日本の高地性集落の形成と展開様相	単著	2023年12月	『古朝鮮檀君学』第52号、古朝鮮檀君学会	—	Pp203-253	無
66	森岡秀人	慶野組銅鐸の特殊性に関する細部観察からの究め	単著	2023年12月	『ナベの会考古学論集 種邂逅の考古学 木許守さん還暦記念論文集』第3集、ナベの会	—	Pp203/253	無
67	高須奈都子	帯結びの補助具の発生と進化 —「帯留」から帯締・帯揚・帯枕へ— (博士論文)	単著	2024年3月	共立女子大学家政学研究所 (博乙第31号)	—	-	有
68	畑恵里子	「舞鶴市糸井文庫蔵『新春龍宮物語』新春の寿ぎと浦島伝説付、翻刻」	単著	2024年3月	静岡英和学院、『静岡英和学院大学・静岡英和学院短期大学部紀要』、第22号	—	pp. 1-9	無
69	山本真紗子	「近代京都の外国人旅行者と東山—栗田の変化と美術工芸品購入を中心に—」	単著	2023年8月	高木博志ほか著『近代京都と文化 「伝統」の再構築』思文閣出版	—	pp. 541-568	無

70	佐藤弘隆	明治時代の京都祇園祭における弓矢町の武者行列の再編	単著	2024年1月	史林107巻1号	佐藤弘隆	pp. 139-172	有
71	佐藤弘隆	長江家旧蔵資料の紹介 — 絵画・書 —	単著	2024年3月	アート・リサーチ24巻3号	佐藤弘隆	pp. 223-225	無
72	佐藤弘隆	京都祇園祭のデジタル・ミュージアムの構築と活用	単著	2023年7月	愛知大学三遠南信地域連携研究センター紀要9号	佐藤弘隆	pp. 49-53	無
73	本多健一	江戸前期の大坂における都市祭礼の基礎的考察	単著	2023年4月	民衆史研究会、民衆史研究、104号	—	pp. 31-49	無 (依頼論文)
74	杉浦 和子	Figure Images and Recognition of Others in Premodern East Asia: Focusing on '万国人物図' Produced in Japan.	単著	2023年12月	復旦大学: "東部亜州海域中の人、物、図—国際学術討論会: 会議論文集"	田中 和子 (Tanaka Kazuko)	pp. 79-87	有
75	Mohamed Soliman	Applicability of digitization experience of the Kyoto City Archaeological Museum (KCAM) to MENA museums at risk: tackling preparedness and post-response	単著	2024年3月	Art Research Journal, Ritsumeikan University, Volume 24-3	Mohamed Soliman, et. Al.	pp. 205-219	reviewed
76	大西秀紀	砂川捨丸の『不如帰』	単著	2023年12月	大阪府立上方演芸資料館、令和4年度年報	荻田清、他	pp. 22-25	無
77	岩田秀行	『名家書翰集』翻字資料連載 (画像版・第四回)	共著	2023年6月	近世文藝研究と評論の会、近世文藝研究と評論、第四百号	倉員正江・他	pp. 1~28	無
78	岩田秀行	「鈴木利兵衛」について——「竺仙旅日記 大師河原・鎌倉紀行篇」補遺	共著	2023年11月	太平書屋、太平餘興、第十三集	伊藤一郎	pp. 67~83	無
79	竹内千代子	重厚の奥羽行	単著	2024年2月	龍谷大学国文学会、国文学論叢、69号	竹内千代子	pp. 1-16	有
80	Annegret Bergmann	Collaboration between two doomed arts in post-war Japan: Kabuki and <i>Nihonga</i> .	単著	2023年	"Dimitrie Cantemir" Christian University Faculty of Foreign Languages and Literatures. <i>Annals of "Dimitrie Cantemir" Christian University</i>	—	pp. 25-41	有

					<i>Linguistics, Literature and Methodology of Teaching XXII</i>			
81	Annegret Bergmann	Eindrücke zur Ausstellung „Kainoshō Tadaoto: Grenzüberschreitung zwischen <i>Nihonga</i> , Theater und Film“ im Nationalmuseum für Moderne Kunst Kyoto	単著	2023年6月	<i>OAG Notizen</i> , 公益社団法人オーアアゲー・ドイツ東洋文化研究協会紀要	—	pp. 26-45	—
82	Ellis TINIOS	“After Native Drawings”: early Western reproductions of ukiyo-e prints and book illustrations.’	単著	2023年	Art Research vol. 24-2	Ellis TINIOS	pp. 99-117	無
83	井上学	コロナ禍における地方自治体による公共交通事業者への運行支援の取り組み —京都市内の事例から—	単著	2024年2月	公益社団法人日本交通政策研究会、日交研シリーズ、A-888	—	pp. 27-37	無
84	鹿内菜穂	モーションキャプチャデータを活用した日本舞踊のVR学習支援システム	共著	2023年5月	情報処理学会, 情報処理学会研究報告, 人文科学とコンピュータ研究会報告, 2023-CH-132・12	横山大貴, 李亮, 長谷川恭子, 鹿内菜穂, 田中覚	pp. 1-6	無
85	鹿内菜穂	Visualization of Impressions and Movement Characteristics Related to Femininity in Japanese Traditional Dance - Case Study of Expressions from Male Dancers-	単著	2023年12月	日本感性工学会, International Journal of Affective Engineering, 23・1	Nao Shikanai	pp. 39-48	有

86	細井尚子	ローカル化の方法としての「翻案」—松竹歌劇のレビューから—	単著	2024年3月	立教大学アジア地域研究所、『東アジア文化圏の大衆的芸能における近代化・グローバル化の旅路』	—	pp. 111-145	無
87	細井尚子	對新冠肺炎疫情期間日本舞台性大衆娛樂新形態的考察	単著	2023年7月	台湾・台北芸術大学《戲劇學刊》第38期 https://www.dropbox.com/scl/fi/aczvzg75rs11cch1fbzzq/04.pdf?rlkey=8es53aoyf109ce49df33ws7s4&e=1&dl=0	—	pp. 72-102	有
88	松葉涼子	Producing Facsimile Reproductions (Fukusei): The Case of Hokusai's Thirty-Six Views of Mount Fuji	単著	2023年6月	Timothy Clark and Sarah Faulks編『British Museum Research Volume Late Hokusai: Thought, Technique, Society』/大英博物館出版部	—	pp. 228-235	有
89	金子貴昭	野田治兵衛『再答口上書』	単著	2024年3月	京都俳文学研究会、俳文学研究、81	—	pp. 5-6	無
90	金子貴昭	野風呂『続俳諧日誌』第七十三回(昭和二十二年十月十日から十月二十二日)	共著	2024年3月	京鹿子発行所、京鹿子、1195	小林孔・金子貴昭・高井悠子・竹内千代子・松本節子・吉田星子・高木晶子	pp. 28-37	無
91	金子貴昭	野風呂『続俳諧日誌』第七十二回(昭和二十二年十月一日から十月九日)	共著	2024年2月	京鹿子発行所、京鹿子、1194	小林孔・金子貴昭・高井悠子・竹内千代子・松本節子・吉田星子・高木晶子	pp. 30-38	無
92	金子貴昭	野風呂『続俳諧日誌』第七十一回(昭和二十二年九月二十二日から九月三十日)	共著	2023年12月	京鹿子発行所、京鹿子、1192	小林孔・金子貴昭・高井悠子・竹内千代子・松本節子・吉田星子・高木晶子	pp. 25-34	無
93	金子貴昭	野風呂『続俳諧日誌』第七十回(昭和二十二年九月十四日から九月二十一日)	共著	2023年11月	京鹿子発行所、京鹿子、1191	小林孔・金子貴昭・高井悠子・竹内千代子・松本節子・吉田星子・高木晶子	pp. 31-36	無
94	金子貴昭	野風呂『続俳諧日誌』第六十九回(昭和二十二年九月一日から九月十三日)	共著	2023年10月	京鹿子発行所、京鹿子、1190	小林孔・金子貴昭・高井悠子・竹内千代子・松本節子・吉田星子・高木晶子	pp. 35-40	無
95	金子貴昭	野風呂『続俳諧日誌』第六十八回(昭和二十二年八月二十一日から八月三十一日)	共著	2023年8月	京鹿子発行所、京鹿子、1188	小林孔・金子貴昭・高井悠子・竹内千代子・松本節子・吉田星子・高木晶子	pp. 35-42	無

		日)						
96	金子貴昭	野風呂『続俳諧日誌』第六十七回(昭和二十二年八月十七日から八月二十日)	共著	2023年7月	京鹿子発行所、京鹿子、1187	小林孔・金子貴昭・高井悠子・竹内千代子・松本節子・吉田星子・高木晶子	pp. 41-43	無
97	金子貴昭	野風呂『続俳諧日誌』第六十六回(昭和二十二年八月一日から八月十六日)	共著	2023年6月	京鹿子発行所、京鹿子、1186	小林孔・金子貴昭・高井悠子・竹内千代子・松本節子・吉田星子・高木晶子	pp. 32-44	無
98	金子貴昭	野風呂『続俳諧日誌』第六十五回(昭和二十二年七月七日から七月三十一日)	共著	2023年5月	京鹿子発行所、京鹿子、1185	小林孔・金子貴昭・高井悠子・竹内千代子・松本節子・吉田星子・高木晶子	pp. 29-44	無
99	金子貴昭	野風呂『続俳諧日誌』第六十四回(昭和二十二年六月二十三日から七月六日)	共著	2023年4月	京鹿子発行所、京鹿子、1184	小林孔・金子貴昭・高井悠子・竹内千代子・松本節子・吉田星子・高木晶子	pp. 31-43	無
100	永塚憲治	『艶本房術龍之巻』について：『素女妙論』の江戸中後期の流通と受容について	単著	2023年12月	日本医史学会関西支部、医譚、118	—	pp. 1107-11086	有
101	永塚憲治	モグサの起原植物・植物名についての一考察	共著	2023年7月	藤門会、藤門医林、35	松岡 尚則、別府 正志、牧野 利明	pp. 40-43	無
102	永塚憲治	新出の曲直瀬流の養生書『攝生之常鑑』について	単著	2023年7月	日本道教学会、東方宗教、141	—	pp. 87-98	有
103	永塚憲治	艶本『色道奥義極秘傳』の解題・翻刻	単著	2023年6月	日本医史学会関西支部、医譚、117	—	pp. 10759-10772	有
104	永塚憲治	房中文献より見る『僧尼孽海』成立小攷	単著	2024年2月	臨川書店	—	pp.116-121	有
105	宮田悠史	地方自治体の映像アーカイブによる経済波及効果の推計：上田市デジタルアーカイブを事例として	単著	2023年11月	立命館大学アート・リサーチセンター、アート・リサーチ、24巻2号	—	pp. 79-85	有
106	宮田悠史	地方自治体の映像デジタルアーカイブによる経済波及効果の推計：「南城アーカイブツーリズム」(沖縄県南城市)を	単著	2024年3月	立命館大学映像学会、	—	pp. 131-142	有

		事例として						
107	常木佳奈	「挿絵」という語の適用範囲に包括される「口絵」：「明治大正昭和挿絵文化展覧会」からの考察	単著	2023年7月	立命館大学アート・リサーチセンター、アート・リサーチ, 24巻1号	—	pp. 21-25	無
108	安宅望	小島貞二コレクション所蔵 明治期刊行相撲書籍研究—Wrestler and Wrestling in Japan(W. K. Burton, J. Inouye)について	単著	2023年11月	立命館大学アート・リサーチセンター、アート・リサーチ, 24巻2号	—	pp. 87-95	有
109	安宅望	『改正絵入南都名所記』考—挿絵の戦略的意味と典拠について	単著	2024年3月	立命館大学アート・リサーチセンター、アート・リサーチ, 24巻3号	—	pp. 185-197	有
110	荒木慎太郎	「飛び出し坊やその始まりとキャラクター —滋賀県東近江市の子どもの安全政策の背景と飛び出し坊やの普及に着目して」	共著	2024年3月	花園大学, 福祉と人間科学, 34	笹谷絵里	pp. 83-92	無
111	嶋津麻徳	坪内逍遙の史劇再考—淀君表象をめぐる史学と文学の緋い交ぜ	単著	2024年3月	立命館大学アート・リサーチセンター、『アート・リサーチ』24巻3号	—	pp. 240-250	有
112	井上明人	どれほどのレトロゲームを遊ぶことができるのか—中古市場の流通状況—	共著	2024年3月	立命館大学, 『立命館映像学』 vol. 17,	福田一史	pp. 7-24	有
113	井上明人	ゲームプレイによる行動および認知の変容についての実証研究	共著	2024年3月	立命館大学, 『立命館映像学』, vol. 17,	笠井輝、松田早紀	pp. 41-58	有
114	井上明人	ゲームジャンルのゲーム仕様の系譜を可視化する—育成ゲームジャンルについての事例研究を通して	共著	2024年1月	arXiv	毛利仁美	—	無

115	井上明人	遊ビゲームと学習- 学習は遊ビゲームと どのように関係して 論じられてきたの か? -	単独	2023年9月	日本デジタルゲーム学会 2023年 夏季研究発表大会 予稿集	—	pp. 95-98	無
116	平山昇	戦前期日本の「聖 地」ツーリズム — 「聖地」の日本化に 着目して—	単著	2023年8月	メディア史研究(54)	—	pp. 49-66	有
117	若林邦彦	扇状地・低中位段丘 における古墳時代集 住遺跡群形成の過程 —「坂モデル」につ いての覚書—	単著	2022年2月	古代学と遺跡学 一坂靖さ ん追悼論文集—	—	pp. 37-43	なし
118	田畑直彦	山口県東部における 弥生時代高地性集落 出土土器	単著	2024年3月	山口大学埋蔵文化財資料 館年報—令和2年度—	—	pp. 128-137	無
119	大場修	亀岡市旧城下町地区 の防災・減災提案に 向けた空き家と空地 に関する研究	共著	2023年7月	歴史都市防災研究所『歴 史都市防災論文集』 Vol. 17	木村智, 米田恵規, 清水 優真, 大場修	pp. 99-104	有
120	大場修	京都における公共路 地の評価要因に関す る考察と防災力向上 のためのケーススタ ディー	共著	2023年7月	歴史都市防災研究所『歴 史都市防災論文集』 Vol. 17	平尾 和洋, 西岡里美, 大場修	pp. 113-120	有
121	大場修	亀岡駅南城下町地区 の町並修景と防火力 向上に向けた予備的 考察	共著	2023年7月	歴史都市防災研究所『歴 史都市防災論文集』 Vol. 17	大場 修, 平尾 和洋, 藤 木大真	pp. 245-250	無
122	大場修	民家の付属屋配置と 規模に関する定量的 考察 -岩手・宮城・ 群馬・鳥取各県農家 と併列型・二棟系の 配置図を用いた分析-	共著	2023年6月	『日本建築学会近畿支部 研究報告集』第63号・計 画系	平尾和洋, 大場修	pp. 149-152	無
123	大場修	民家の屋敷構え・付 属屋配置とクラ方位 に関する定量的考察 -1960年代緊急民家 調査の配置図を用い た分析-	共著	2023年6月	『日本建築学会近畿支部 研究報告集』第63号・計 画系	本田暁彦, 上田圭太郎, 平尾和洋, 大場修	pp. 153-156	無
124	大場修	亀岡駅南城下町地区 の町並み修理修景方 針と防火力向上に向	共著	2023年6月	『日本建築学会近畿支部 研究報告集』第63号・計 画系	大場修, 藤木大真, 平尾 和洋	pp. 250-253	無

		けた予備的考察						
125	大場修	京町家カルテ-カルテ が再発見した京町家 の多様な世界-	共著	2023年9月	『資料民家研究の新視点 _2023大会PD資料』2023年 度日本建築学会大会（近 畿）建築歴史・意匠部門 パネルディスカッション (2)	三浦要一, 大場修, 平山 育男, 中村琢巳, 大野 敏, 中尾七重, 山田由香 里	11月19日	無
126	大場修	亀岡駅南城南町地区 の町並み修理修景方 針と防火力向上に向 けた予備的考察その 1	共著	2023年9月	『日本建築学会大会学術 講演梗概集』2023年度日 本建築学会大会（近畿）	宮澤楠子, 藤木大真, 大 場修, 平尾和洋	pp. 1037- 1038	無
127	大場修	亀岡駅南城南町地区 の町並み修理修景方 針と防火力向上に向 けた予備的考察その2	共著	2023年9月	『日本建築学会大会学術 講演梗概集』2023年度日 本建築学会大会（近畿）	木村愛美, 藤木大真, 大 場修, 平尾和洋	pp. 1039- 1040	無
128	大場修	民家の屋敷構え・付 属屋配置とクラ方位 に関する定量的考察 その1-1960年代緊急 民家調査の配置図を 用いた分析-	共著	2023年9月	『日本建築学会大会学術 講演梗概集』2023年度日 本建築学会大会（近畿）	渡部祐輝, 上田圭太郎, 平尾和洋, 大場修	pp. 29-30	無
129	大場修	民家の屋敷構え・付 属屋配置とクラ方位 に関する定量的考察 その2-1960年代緊急 民家調査の配置図を 用いた分析-	共著	2023年9月	『日本建築学会大会学術 講演梗概集』2023年度日 本建築学会大会（近畿）	潮田龍諒, 上田圭太郎, 平尾和洋, 大場修	pp. 31-32	無
130	大場修	和歌山市雑賀崎にお けるコンクリート造 民家の普及過程 紀伊 半島の漁村・海付集 落に関する史的研究 その8	共著	2023年9月	『日本建築学会大会学術 講演梗概集』2023年度日 本建築学会大会（近畿）	吉川晴夫, 松田法子, 大 場修	pp. 67-68	無
131	大場修	和歌山市雑賀崎にお けるコンクリート造 民家の発生と「コン クリート巻き」住宅 紀伊半島の漁村・海 付集 落に関する史的 研究 その9	共著	2023年9月	『日本建築学会大会学術 講演梗概集』2023年度日 本建築学会大会（近畿）	大場修, 松田法子, 吉川 晴夫, 京谷友也	pp. 68-69	無

132	大場修	和歌山市雑賀崎におけるコンクリート造民家の建設動機と実現の要因 紀伊半島の漁村・海付集落に関する 史的研究 その10	共著	2023年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』2023年度日本建築学会大会（近畿）	松田法子, 吉川晴夫, 大場修	pp. 70-71	無
133	杉本竜	立見尚文の親族関係について -二人の立見尚志-	単著	2024年3月	三重県史研究 (39)	—	pp. 46-54	有
134	杉本竜	〔資料紹介〕立見尚文《文久三年御上京日記》	単著	2024年3月	桑南市博物館紀要 (18)	—	Pp38-47	無
135	荻田みどり	『箋注倭名類聚抄』研究会 『箋注倭名類聚抄』注釈・巻第一・天地部第一・景宿類一 星	単著	2024年2月	勉誠社, 水門, 31号	—	pp. 314-319	無
136	荻田みどり	『篋物語』における「食」——稲荷詣を端緒として——	単著	2024年3月	伏見稲荷大社, 朱, 67号	—	pp. 33-51	無
137	松田法子	「宮津の芸者町・新浜の空間史と建築」	単著	2023年9月	『観光研究』、Vol. 31, No. 1	—	—	有
138	稲葉光行	Crystallization of Knowledge through Mixed Methods Research - Report on the 8th Annual Conference of the Japan Society for Mixed Methods Research	共著	2023年8月	Japan Society for Mixed Methods ResesarchAnnals of Mixed Methods Research2 (2)	Mitsuyuki Inaba, Sachiko Makabe	pp. 190-196	無
139	稲葉光行	「混合研究法による知の結晶」—第8回日本混合研究法学会年次大会報告	共著	2023年8月	日本混合研究法学会混合研究法 2(2)	稲葉 光行, 眞壁 幸子	pp. 197-202	無
140	稲葉光行	Can we spot fake public comments generated by ChatGPT(-3.5, -4)? : Japanese stylometric analysis expose emulation created by one-shot learning	共著	2024年3月	PLOS ONEPLOS ONE 19(3)	Wataru Zaitso, Mingzhe Jin, Shunichi shihara, Satoru Tsuge, Mitsuyuki Inaba	19 (3), e029 9031	有

141	勝又 基	版本単伝孝子伝のは じまり：元禄七年刊 『土持兄弟おやか かう物語』	単著	2024年3月	明星大学研究紀要. 人文 学部・日本文化学科 32 号	—	pp. 1-10	無
-----	------	---	----	---------	-----------------------------------	---	----------	---

3. 研究発表等					
No	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	前田亮	融合特徴に基づくグラフ畳み込みによる商品推薦手法	2023年9月	WebDB夏のワークショップ2023, 北九州国際会議場, 北九州市	王 俞歆, 前田 亮
2	前田亮	MultArtRec: A Multimodal Neural Topic Model for Integrating Image and Textual Features in Artwork Recommendation	2023年9月	WebDB夏のワークショップ2023, 北九州国際会議場, 北九州市	Jiayun Wang, Akira Maeda, and Kyoji Kawagoe
3	矢野桂司	Extending Japanese Old Maps Online: GIS based Japanese gazetteer	2023年4月	Colloquium of Center for Geographic Analysis, Harvard University	—
4	矢野桂司	Spatio-temporal Visualization of Urban Population Using Spatial Big Data: A Case Study of Kyoto City during the COVID-19 Pandemic	2023年7月	The Symposium on Spatiotemporal Data Science	Keiji Yano, Kazumasa Hanaoka and James Todd
5	矢野桂司	Development of a Japanese 'GIS place name dictionary' as a basis for interdisciplinary research	2023年8月	the 31th International Cartographic Conference (ICC 2023)	Keiji Yano, Kazumasa Hanaoka, Ryo Kamata, Narushige Shiode and Shino Shiode
6	矢野桂司	A dashboard application to explore population distribution derived from GPS location data during the COVID-19 pandemic in Kyoto, Japan	2023年8月	the 31th International Cartographic Conference (ICC 2023)	James Todd, Keiji Yano and Kazumasa Hanaoka
7	矢野桂司	歴史災害復原へ向けた時空間情報の可視化—発掘調査データベースを用いたデータ駆動型研究の実践—	2023年10月	第32回地理情報システム学会学術研究発表大会	武内 樹治・矢野桂司
8	矢野桂司	空間ヒューマンティーズの展開 —占領期京都の景観復原を事例に—	2024年2月	2023 年度「東アジア次世代フォーラム」	—
9	矢野桂司	Virtual Kyoto: from GIS, VR and AR to Metaverse.	2024年3月	Workshop: Practices and Challenges of Integrating GIS, VR, Metaverse in Digital Humanities Research	—
10	木立雅朗	【招待】窯の機能論-窖窯と連房式登り窯を中心に-	2024年1月	アジア考古学合同講演会 第13回大会、早稲田大学戸山キャンパス、東京都新宿区	—
11	木立雅朗	観光公害と文化遺産—京都の伝統工芸に関わる史資料の現状と課題から—	2023年12月	歴史科学協議会 第57回大会、早稲田大学戸山キャンパス、東京都新宿区	—

12	木立雅朗	【基調講演】遺跡の上で暮らすために —歴史都市京都の近現代遺跡を中心に—	2023年6月	文化財保存全国協議会第53回大会、立命館大学朱雀キャンパス、京都市	—
13	木立雅朗	京都市五条坂京焼登り窯（旧藤平）第2次発掘調査と工房の三次元計測	2023年5月	日本考古学協会第89回総会・研究発表、東海大学 湘南キャンパス、神奈川県平塚市	余語琢磨・田畑幸嗣、ナワビ矢麻、川口華乃好・立花唯翔
14	木立雅朗	焼成温度と色調・混和量との関係についての焼成実験—窯導入期の土器・埴輪の解明にむけて—	2023年5月	日本考古学協会第89回総会・研究発表、東海大学 湘南キャンパス、神奈川県平塚市	長友朋子
15	木立雅朗	京焼登り窯の三次元計測④ —五条坂京焼登り窯（旧藤平）の事例	2023年7月	日本文化財科学会第40回記念大会、なら歴史芸術文化村、奈良県天理市	ナワビ 矢麻, 余語琢磨, 田畑幸嗣
16	竹中悠美	〈ザ・ファミリー・オブ・マン〉における原爆の影	2023年5月	Book Launch International Symposium CAPTURE JAPAN	—
17	竹中悠美	ARCデータベースを活用した家庭内視覚文化文化研究	2023年8月	ARC Days 2023	高橋千晶、嶋津麻穂
18	竹中悠美	趣旨説明、絵の中の窓 —空間の枠付と装飾性から	2023年11月	公開ワークショップ：東アジア美術の〈家〉領域における表と奥	—
19	竹中悠美	『日曜日の散歩者』における「七つの詩」—台湾とシュルレアリスム、あるいは龍口修造—	2024年2月	公開ワークショップ：東亜電影中的文化芸術	—
20	竹中悠美	ARCデータベースを活用した家庭内視覚文化研究	2024年2月	2023年度ARC成果発表会	—
21	田中覚	3次元計測データに基づく當麻寺西塔の点群型VR可視化システム	2023年8月	第51回可視化情報シンポジウム	小柴雄人, 李亮, 長谷川恭子, 田中覚
22	田中覚	特徴強調可視化を取り入れた甲冑の点群VRシステム	2023年8月	第51回可視化情報シンポジウム	平川拓, 李亮, 長谷川恭子, 塚本章宏, 田中覚
23	田中覚	モーションキャプチャデータを活用した日本舞踊の学習支援のためのVRシステム	2023年8月	第51回可視化情報シンポジウム	横山大貴, 李亮, 長谷川恭子, 鹿内菜穂, 田中覚
24	田中覚	3次元点群データの色・不透明度グラデーションを利用したエッジ強調可視化	2023年8月	第51回可視化情報シンポジウム	山田祐里, 李亮, 長谷川恭子, 田中覚
25	田中覚	ノイズ透明化手法に基づく3次元計測点群の高精細ポイントレンダリング可視化情報シンポジウム	2023年8月	第51回可視化情報シンポジウム	茅清宇, 李亮, 長谷川恭子, 内田知将, 田中覚
26	田中覚	Highlighting the color boundary of 3D scanned point clouds by PCA in color space	2023年8月	The 42nd JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2023)	Keigo Furuya, Kyoko Hasegawa, Liang Li and Satoshi Tanaka

27	田中覚	High-precision rendering of 3D scanned point cloud based on noise transparency method	2023年8月	The 42nd JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2023)	Qingyu Mao, Liang Li, Kyoko Hasegawa, Tomomasa Uchida, Satoshi Tanaka
28	田中覚	Comparison of Locomotion Methods for VR Experience of Borobudur Temple	2023年8月	The 42nd JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2023)	Yasuaki Suzuki, Hiroshi Yamaguchi, Fadjar I. Thufail, Brahmantara, Kyoko Hasegawa, Liang Li and Satoshi Tanaka
29	田中覚	【招待講演】3次元計測点群を活用した有形文化財可視化とノイズ透明化	2023年9月	精密工学会 超精密位置決め専門委員会	田中覚
30	田中覚	【招待講演】3次元計測に基づく可視化技術の箱庭療法への応用	2023年9月	第54回日本芸術療法学会	田中覚
31	田中覚	3次元計測点群の半透明立体視における奥行き認知改善のための高精細なエッジ強調	2023年9月	2023年度精密工学会秋季大会	青井大門, 長谷川恭子, 李亮, 坂野雄一, 坂本尚久, 田中覚
32	田中覚	A Noise Transparency Approach for High-precision Visualization of 3D Scanned Point Clouds	2023年10月	22nd Asia Simulation Conference (AsiaSim2023)	Qingyu Mao, Liang Li, Kyoko Hasegawa, Tomomasa Uchida, Satoshi Tanaka
33	田中覚	【招待講演】3次元計測点群データの透視可視化とエッジ強調可視化	2023年11月	3Dレーザスキャニング&イメージングシンポジウム 2023	田中覚
34	田中覚	3次元計測点群データの透視可視化と高視認性エッジ強調可視化	2024年3月	日本応用数理学会・第20回研究部会連合発表会	田中覚
35	西浦敬信	A Joint Deep Neural Network for Single-Channel Speech Separation	2024年3月	NCSP 2024, online	Peng Chen, Yuting Geng, Kenta Iwai, Takanobu Nishiura
36	西浦敬信	Importance of the window function in phase reconstruction using DNN for audio super-resolution	2024年3月	NCSP 2024, online	Yanqiao Yan, Yuting Geng, Kenta Iwai, Takanobu Nishiura
37	西浦敬信	Radiated Sound Field Reproduction for Surrounding Loudspeaker Array Based on Higher-Order Ambisonics	2023年10月	APSIPA ASC 2023, Taipei, Taiwan	Shota Naiki, Kenta Iwai, Takanobu Nishiura, and Yoshiharu Soeta
38	西浦敬信	Effects of the types of headphones and sound sources on spatial audio quality	2023年9月	International Conference on Immersive and 3D Audio (I3DA), Bologna, Italy	Yoshiharu Soeta, and Takanobu Nishiura

39	西浦敬信	Investigations on relationship between vibration characteristics and shapes of effect cymbals with finite element method	2023年8月	INTER-NOISE 2023, Chiba, Japan	Kohei Izawa, Yuting Geng, Kenta Iwai, and Takanobu Nishiura
40	西浦敬信	Experimental evaluation of feedforward active noise control system with optical laser microphone and proportional-integral-differential filter	2023年8月	INTER-NOISE 2023, Chiba, Japan	Shota Naiki, Kenta Iwai, Takanobu Nishiura, and Yoshiharu Soeta
41	西浦敬信	自己教師あり学習モデルを用いたくずし字翻刻のための古文音声認識システムの構築	2024年3月	情報処理学会第86回全国大会, Online	張 宇涛, 戸塚 史織, 歌 毓庭, 岩居 健太, 西浦 敬信, 赤間 亮
42	西浦敬信	Ambisonics を用いた錯覚型音像ログラフィの実験的検討	2023年12月	日本音響学会関西支部第26回若手研究者交流研究発表会, Osaka, Japan	江川 琢真, 歌 毓庭, 西浦 敬信, 中山 雅人
43	西林孝浩	屏風の中の内なる世界：韓休墓の墓室壁画における論理	2023年11月	公開ワークショップ『東アジア美術の〈家〉領域における表と奥』	—
44	SEIFMAN Travis	“Communication and Cooperation: Logistical Coordination between Seto Inland Sea Towns for the Passage of the Ryukyu Kingdom’s 17th-19th century Embassies to Edo”	2024年3月	Association for Asian Studies annual conference, Seattle USA	—
45	SEIFMAN Travis	“The Value of Visual Sources in Digital Archives for Researching the Ryukyu Kingdom’s Embassies to Edo”	2023年9月	Theory and Methods in the Japanese Humanities: Research Using Visual Sources and Archives (ARC/UC Berkeley 共催)、University of California, Berkeley	—
46	SEIFMAN Travis	「近世琉球使節のビジュアル・マテリアル・パフォーマンス文化における数点」	2023年7月	国際ARCセミナー、立命館大学ARC・オンライン	—
47	SEIFMAN Travis	“Arms for Display: A Ryukyuan Lacquerware Halberd”	2023年4月	Archival Kismet conference. オンライン	—
48	THAWONMAS Ruck	Minecraft ビデオ美術品質評価モデル	2023年9月	ゲーム学会第21回合同研究会「ゲームと教育」研究部会	長谷川 稜介, THAWONMAS Ruck
49	山内啓之	Developing methodologies and materials for GIS education to university and high school students	2023年4月	EGU 2023, Austria	Takashi Oguchi, Song Jiali, Takuro Ogura, Kotaro Iizuka
50	山内啓之	海岸地形を対象としたメタバース巡検の実践—VR内人流データによる時空間解析—	2023年5月	日本地球惑星科学連合2023年大会、幕張メッセ	飯塚浩太郎, 小倉 拓郎, のりたま, Kuroly

51	山内啓之	Assessing students' knowledge retention and mitigation behaviors using a VR flood system	2023年5月	日本地球惑星科学連合2023年大会、幕張メッセ	Yunhua Yang, Takashi Oguchi, Takuro Ogura
52	山内啓之	複数のデジタルメディアを用いた地形教育のオープン教材の試作	2023年9月	2023年日本地理学会秋季学術大会、関西大学	小口 高, 小倉拓郎
53	山内啓之	Japanese old maps online/日本の古地図オンライン	2023年11月	DHSympo2023: 国際シンポジウム「デジタル・ヒューマニティーズと研究基盤 欧州と日本の最新トレンド」、東京ビッグサイト	矢野桂司
54	山内啓之	三次元地理情報とメタバースプラットフォームを用いた地理教育の実践と課題	2023年11月	CSIS DAYS 2023、東京大学	飯塚浩太郎, 石橋生, 小倉拓郎
55	山内啓之	VR技術とドローンを用いた空き家調査の効率化	2023年12月	VirtualConference2023、オンライン	飯塚浩太郎, 秋山祐樹, のりたま, 今福信幸, 杉田暁
56	山内啓之	GIS実習オープン教材開発プロジェクトを踏まえた見解	2024年2月	CSISシンポジウム「空間情報科学・地理学の新たな教育に向けて」、東京大学	—
57	山内啓之	令和6年能登半島地震で隆起した海岸地形を対象とした高精細地形データの取得と活用	2024年3月	2024年日本地理学会春季学術大会、青山学院大学	小倉拓郎, 島本多敬, 水野敏明, 片山大輔, 八反地 剛
58	山内啓之	高精細地形情報と絵図を用いたEco-DRR施設の可視化—滋賀県愛知川中流域・猿尾の事例—	2024年3月	2024年日本地理学会春季学術大会、青山学院大学	小倉拓郎, 青木賢人, 松岡憲知, 後藤秀昭, 松多信尚, 小口 高
59	山内啓之	Three-Dimensional Archiving of Local Historical Embankments Named "Saru" for Educational Purposes within a Metaverse Platform	2024年3月	Practices and Challenges of Integrating GIS, VR, Metaverse in Digital Humanities Research、立命館大学	—
60	大田壮一郎	【招待】The Relationship between Political Power and Sects in Medieval Japan: Focusing on Sectarian Disputes Shuron (宗論)	2023年11月	Transcending the Tangibility and Intangibility: Religion and Media in Pre-Modern East and West Eurasia	—
61	大田壮一郎	立命館大学文学部所蔵中世神道関係文書のデジタル化	2024年2月	2023年度アート・リサーチセンター 成果発表会	—
62	加藤政洋	那覇市の観光商店街「国際通り」の成立とその特色—1960年代の店舗変化に着目して—	2023年11月	2023年人文地理学会大会、法政大学、東京都	河角直美・加藤政洋・宇佐美智也・常本亮太・宮原佑成・前田一馬
63	河角直美	那覇市の観光商店街「国際通り」の成立とその特色—1960年代の店舗変化に着目して—	2023年11月	2023年人文地理学会大会、法政大学、東京都	河角直美・加藤政洋・宇佐美智也・常本亮太・宮原佑成・前田一馬
64	斎藤進也	京都ストリート文化アーカイブの構築と発信プロジェクト	2023年8月	ARC Days 2023, 立命館大学アート・リサーチセンター	竹田章作

65	斎藤進也	視覚障害を考慮したビデオゲームのメニュー選択と3D空間移動の支援デザインに関する探索的研究	2023年9月	2023年日本デジタルゲーム学会夏季研究大会、成城大学	長谷川綾音
66	斎藤進也	人文社系/人間科学系研究者のためのゲームエンジンガイド	2023年12月	ものづくり質的研究センター第19回研究会、立命館大学ものづくり質的研究センター	—
67	斎藤進也	京都ストリート文化アーカイブの構築と発信プロジェクト	2024年2月	立命館大学アート・リサーチセンター 文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点 「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点」 「日本文化デジタル・ヒューマンティーズ拠点」 プロジェクト 成果発表会	竹田章作、張翌
68	斎藤進也	視覚障害を持つプレイヤーのゲーム空間認識と体験の分析に関する探索的研究	2024年3月	INTERACTION 2024, 情報処理学会	長谷川綾音
69	島川博光	Estimation of Differences in Work Attitudes by National Character from Physiological Signals	2024年2月	International Congress on Information and Communication Technology	Koki Matsuno
70	島川博光	Sensing Intra-Clothing Climate to Increase Comfort According to Time Place and Occasion	2023年9月	International Conference on Human Interaction and Emerging Technologies	Takayuki Hiwatari, Fumiko Harada
71	島川博光	Assessing Engagement of the Elderly in Active Listening From Body Movement	2023年9月	International Conference on Human Interaction and Emerging Technologies	Yuji Tanabe
72	島川博光	Analysis of Clothing Features Improving Self-Esteem Through Measuring Stress According to Activity Contexts	2023年9月	International Conference on Human Interaction and Emerging Technologies	Yumi Kirii, Fumiko Harada
73	中村彰憲	90年代におけるCGアートNFT化における実践報告	2023年8月	ARC Days 2023	中村彰憲
74	中村彰憲	デジタルカルチャーにおける歴史的価値向上のデジタルデザイン プロジェクト発表	2023年2月	2023年度ARC成果発表会	中村彰憲
75	三須祐介	戦後台湾の文芸作品におけるセクシュアル・マイノリティと“結婚”	2023年7月	中国ジェンダー研究会	—
76	三須祐介	台湾文芸作品から読む 同性婚とクィア・ファミリーの想像	2023年10月	関西ジェンダー史カフェ	—
77	孟林	AIとIoTを融合した文化遺産整理	2024年1月	スマートシステムと制御技術シンポジウム (松江テルサ, 島根)	Yifei GE, Zhuo LI
78	李亮	Comparison of Locomotion Methods for VR Experience of Borobudur Temple	2023年8月	The 42nd JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2023), Niigata, Japan	Yasuaki Suzuki, Hiroshi Yamaguchi, Fadjar I. Thufail, Brahmantara, Kyoko Hasegawa,

					Liang Li and Satoshi Tanaka
79	李亮	High-precision rendering of 3D scanned point cloud based on noise transparency method	2023年8月	The 42nd JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2023), Niigata, Japan	Qingyu Mao, Liang Li, Kyoko Hasegawa, Tomomasa Uchida, Satoshi Tanaka
80	李亮	Highlighting the color boundary of 3D scanned point clouds by PCA in color space	2023年8月	The 42nd JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2023), Niigata, Japan	Keigo Furuya, Kyoko Hasegawa, Liang Li and Satoshi Tanaka
81	李亮	Developing a Multimodal Database of Digital Archives for Cultural Heritage Sites - A Case of Digitally Preserving the Borobudur Temple of Indonesia	2023年9月	The International Archives of the Photogrammetry, Remote Sensing and Spatial Information Sciences, Volume XLVIII-1/W2-2023 (Proc. ISPRS Geospatial Week 2023, 2-7 September 2023, Cairo, Egypt	B. Batjargal, J. Pan, Sh. Ji, L. Li, H. Yamaguchi, K. Hasegawa, T. Nishibayashi, A. Maeda, U. Sarjiati, F. I. Thufail, Brahmantara, S. Tanaka
82	李亮	A Noise Transparency Approach for High-precision Visualization of 3D Scanned Point Clouds	2023年10月	22nd Asia Simulation Conference (AsiaSim2023), Malaysia	Qingyu Mao, Liang Li, Kyoko Hasegawa, Tomomasa Uchida, Satoshi Tanaka
83	李亮	ノイズ透明化手法に基づく3次元計測点群の高精細ポイントレンダリング	2023年8月	可視化情報学会 第51回可視化情報シンポジウム, グランドパーク小樽	茅清宇, 李亮, 長谷川恭子, 内田知将, 田中覚
84	李亮	モーションキャプチャデータを活用した日本舞踊の学習支援のためのVRシステム	2023年8月	可視化情報学会 第51回可視化情報シンポジウム, グランドパーク小樽	横山大貴, 李亮, 長谷川恭子, 鹿内菜穂, 田中覚
85	李亮	特徴強調可視化を取り入れた甲冑の点群VRシステム	2023年8月	可視化情報学会 第51回可視化情報シンポジウム, グランドパーク小樽	平川拓, 李亮, 長谷川恭子, 塚本章宏, 田中覚
86	李亮	3次元計測データに基づく當麻寺西塔の点群型VR可視化システム	2023年8月	可視化情報学会 第51回可視化情報シンポジウム, グランドパーク小樽	小柴雄人, 李亮, 長谷川恭子, 田中覚

87	李亮	主成分分析に基づく渦度を利用した大規模海洋シミュレーションの3次元可視化	2023年8月	可視化情報学会 第51回可視化情報シンポジウム, グランドパーク小樽	有田さとる, 中田聡史, 川原慎太郎, 宮地英生, 長谷川恭子, 李亮, 田中覚
88	李亮	3次元点群データの色・不透明度グラデーションを利用したエッジ強調可視化	2023年8月	可視化情報学会 第51回可視化情報シンポジウム, グランドパーク小樽	山田祐里, 李亮, 長谷川恭子, 田中覚
89	李亮	3次元計測点群の半透明立体視における奥行き認知改善のための高精細なエッジ強調	2023年9月	2023年度精密工学会秋季大会 学生研究発表会, 福岡工業大学	青井大門, 長谷川恭子, 李亮, 坂野雄一, 坂本尚久, 田中覚
90	鈴木桂子	【招待】 Printed Textiles on the Move: A Case Study of Chintz, Batik, Wa-sarasa, and “African Prints”	2024年3月	East Asian Textiles and Clothing in Motion: Ideas and Identities Across Media and Space in the Long 19th Century, ライデン大学, ライデン市	—
91	鈴木桂子	【招待】 Visual Construction of the Dutch: From the Perspective of the “Tōjin”	2024年3月	Leiden Lecture Series in Japanese Studies, ライデン大学, ライデン市	—
92	鈴木桂子	A Global History of “Kimonos” and the Products They Inspired	2023年9月	The 3rd Conference of the European Association for Asian Art and Archaeology, リュブリャナ大学, リュブリャナ市	—
93	鈴木桂子	【招待】 An Entangled History of Chintz, Batik, Sarasa, Katagami, and “African Prints”	2023年9月	Images of Drapes/Draped Images: Textiles and Representation in Early Modern Asia and Europe, ウィーン大学, ウィーン市	—
94	鈴木桂子	挿絵解説文の英訳について: 解説文にあらわれる身装文化の特徴、及び機械翻訳の試みについて	2023年6月	服装・身装文化デジタルアーカイブ研究会, 国立民族学博物館, 大阪市	—
95	山口記弘	「秦氏と日本の芸能」	2023年4月	国際日本文化研究センター 第1回古代史研究会	—
96	森岡秀人	【招待】 日本の高地性集落の形成と展開様相	2023年11月	東アジアにおける青銅器時代の高地性集落の現状と様相 高麗大学 (韓国)	—
97	山本真紗子	「近代日本の海外美術品の仲介者と場」	2023年8月	意匠学会第65大会, 京都精華大学 (京都市)	—
98	勝又基	Do We still need classic literature?	2024年1月	Modern language association	Gian Piero Persiani他
99	佐藤弘隆	人流データでみる祭礼見物の空間的特徴	2024年2月	第11回越境地域政策研究フォーラム, 愛知大学, 豊橋市	佐藤弘隆
100	佐藤弘隆	【招待】 大正時代の漫画家集団による旧東海道の旅 —描かれた風景と制作意図をめぐって—	2024年1月	日本民俗建築学会第98回研究会	佐藤弘隆
101	佐藤弘隆	【招待】 地理空間情報でみる令和5年犬山祭の運営基盤	2023年6月	経済地理学会中部支部例会	佐藤弘隆

102	佐藤弘隆	旅する漫画家たち—大正時代の東京漫画会について—	2023年5月	第66回歴史地理学会大会	佐藤弘隆
103	佐藤弘隆	【招待】京都祇園祭の山鉦町における暮らしと祭り	2023年4月	三河民俗談話会例会	佐藤弘隆
104	塚本章宏	伊能図の縮図法に関する一考察—広域下図に隠された「針穴縮図」—	2023年5月	歴史地理学会、日本大学、東京都	塚本章宏・平井松午
105	塚本章宏	特徴強調可視化を取り入れた甲冑の点群 VR システム	2023年8月	第51回可視化情報シンポジウム、グランドパーク小樽、小樽市	平川拓, 李亮, 長谷川恭子, 塚本章宏, 田中覚
106	塚本章宏	徳島城博物館所蔵甲冑コレクションの3Dデータベースの構築	2024年2月	立命館大学アート・リサーチセンター 文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点 「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」 2023年度 成果発表会、オンライン	—
107	飯塚 公藤	ロンドン・リージェント運河における船舶利用の変化—2012・2023年比較—	2023年12月	日本海運経済学会関西支部、近畿大学、大阪府東大阪市	—
108	館野まりみ	「絵画史料に見るお国かぶきと遊女かぶきの芸態の違い」	2023年11月	藝能史研究会	—
109	杉浦 和子	【招待】 Figure Images and Recognition of Others in Premodern East Asia: Focusing on '万国人物図' Produced in Japan.	2023年12月	東部亜州海域中的人、物、図—国際学術討論会、復旦大学文史研究院、上海市	田中 和子(Tanaka Kazuko)
110	Mohamed Soliman	Medieval Cairo: A Journey to the City of Arabian Nights	2023年7月4	The Embassy of Egypt in Japan. The Education, Cultural, and Science Bureau in Tokyo	Mohamed Soliman
111	Mohamed Soliman	Applicability of 3D modelling multi-techniques for digitizing museums and archaeological sites	2023年11月	Princess Noura Bint Abdelrahman University, KSA.	Mohamed Soliman
112	Mohamed Soliman	Interpretational Correlation between the Hydrological Infrastructure and Water Architecture in Islamic Alexandria	2024年1月	"Archaeology of Irrigation Technology and Water Management in the Islamic World Conference". Manama, Bahrain Kingdom	Mohamed Soliman
113	Mohamed Soliman	Methodological Intervention for Preserving the Egyptian Cultural Heritage in the Age of Digital Humanities	2024年2月	International Workshop "Studies on Middle Eastern Heritage Science", Waseda University, Tokyo	Mohamed Soliman
114	Mohamed Soliman	Climate Strategies for the Cultural Heritage of Alexandria and North Delta: Compatibility of National Policies with Global Environmental Demand	2024年4月	IGC Annual Meeting, Esri Headquarters, Redlands-California, USA	Mohamed Soliman
115	大西秀紀	【招待】 国勢調査とレコード	2024年1月	ボン大学片岡コレクション研究会、第16回定期講演会、オンライン	—
116	Lawrence E. MARCEAU	【招待】 Digesting Edo's Illustrated Comic Fiction: Shiba	2023年10月	Professor Xiao Jie Yang Memorial Lecture 第1回大会、Calgary大学、	—

		Zenkō's Deep in the Gut of Courtesan Fourteen (1793)		Calgary市	
117	前崎信也	「近年の海外における明治陶磁研究事情」(研究発表)	2023年12月	東洋陶磁学会 第50回大会2、瀬戸市文化センター	—
118	前崎信也	【招待】「明治陶磁の収集と作家研究」(パネルディスカッション)	2023年12月	東洋陶磁学会 第50回大会2、瀬戸市文化センター	佐藤一信、服部文孝
119	前崎信也	【招待】"Imperial Household Artist Seifū Yohei III and the Birth of Modern Japanese Ceramics"	2023年8月	Cleveland Museum of Art	—
120	前崎信也	「津軽三味線と漆芸の融合 —KOGEI Next 監修エレキ三味線《Lycoris》—」(ポスター発表)	2023年8月	意匠学会 第65回大会、京都精華大学	田畑絵梨奈
121	前崎信也	「和楽器の持続可能性 —KOGEI Next 監修エレキ三味線《Lycoris》の制作を通して—」(研究発表)	2023年8月	意匠学会 第65回大会、京都精華大学	田畑絵梨奈
122	Dr. Annegret Bergmann	Tracing Trends in Kabuki by Shifting Paradigms in Visual Media – Actor Prints and Photos of Ichikawa Sadanji II	2023年8月	17th International Conference of the European Association of Japanese Studies, Ghent University	—
123	Dr. Annegret Bergmann	The Rebuilding of the National Theatre of Japan and Kabuki: Present Interdependencies and Future Challenges	2023年9月	10th International Conference <i>Japan: Pre-Modern, Modern, Contemporary</i> . Bucharest University of Economic Studies, Center for Japanese Studies	—
124	Dr. Annegret Bergmann	Art on Stage: Shift in Kabuki Costumes from Craft to Art	2023年9月	The Third Conference of the European Association for Asian Art and Archaeology, University of Ljubljana, Slovenia	—
125	Dr. Annegret Bergmann	Mysterious Marks on Tea Ceremony Utensils of the Momoyama Period	2023年11月	17th Annual Conference on Asian Studies (ACAS), Olomouc University, Czech Republic	—
126	津田 光弘	身装文化研究関連システムの現状と今後	2023年6月	2023年度MCD研究会、国立民族学博物館	—
127	Ellis TINIOS	Exploring Japanese Illustrated Books	2023年4月	National Institute for the History of Art, Paris. Conference on wapon in Paris	Ellis TINIOS
128	Ellis TINIOS	An introduction to the illustrated book in early modern Japan	2023年6月	School of Oriental and African Studies. London. Lecture to an M.A. course	Ellis TINIOS
129	Ellis TINIOS	Paper: Jack Hillier's 'ideal collection' of Japanese illustrated books: defining a canon.	2023年8月	EAS Panel: Shaping a New Approach: Jack Hillier and the graphic arts of early modern Japan.	Ellis TINIOS
130	Ellis TINIOS	Hokusai the Alchemist	2023年11月	International Seminar Ritsumeikan ARC	Ellis TINIOS
131	Ellis TINIOS	The publisher Tōhekidō (Eirakuya Tōshirō) and the Hokusai 'Brand	2023年11月	French School of Oriental Studies, Kyoto	Ellis TINIOS

132	Ellis TINIOS	Graphic art in early modern Japan (prints and books)	2024年1月	Three-hour worksop. Part of Curating Prints, a week-long course sponsored by the Getty and run by Print Quarterly	Ellis TINIOS
133	井上 学	“人をつなげる 心のまちの地域公共交通”へー宇治田原町の地域交通再編と利用促進ー	2023年9月	日本モビリティ・マネジメント会議 第16回大会、熊本城ホール、熊本市	植村和仁
134	井上 学	ライフステージに合った市営バスサービスの提供による未来志向の利用促進	2023年9月	日本モビリティ・マネジメント会議 第16回大会、熊本城ホール、熊本市	吉岡昇・前田浩成・長田次郎・木村加代子・高橋愛典・毛海千佳子・山室良徳・富久直哉
135	井上 学	伊根町内デマンド型乗合タクシー「いねタク」の利用促進に向けた予約方法支援の取り組み	2023年9月	日本モビリティ・マネジメント会議 第16回大会、熊本城ホール、熊本市	竹熊万由佳
136	鹿内菜穂	モーションキャプチャデータを活用した日本舞踊のVR学習支援システム	2023年5月	情報処理学会人文科学とコンピュータ研究会、武蔵野市・亜細亜大学	横山大貴, 李亮, 長谷川恭子, 鹿内菜穂, 田中覚
137	鹿内菜穂	【招待講演】心の可視化とデジタル視考「こころの可視化」	2023年7月	日本学術会議 公開シンポジウム 科学的知見創出に資する可視化(8): 可視化を基盤とする分野横断型デジタル視考, 港区・日本学術会議講堂	加藤千恵子・鹿内菜穂
138	鹿内菜穂	モーションキャプチャデータを活用した日本舞踊の学習支援のためのVRシステム	2023年8月	第51回可視化情報シンポジウム, 小樽市・グランドパーク小樽	横山大貴, 李亮, 長谷川恭子, 鹿内菜穂, 田中覚
139	鹿内菜穂	【ワークショップ】ポストコロナにおける心身の健康づくりーチェアヨガの実践ー	2023年8月	日本応用心理学会第89回大会, 武蔵野市・亜細亜大学	鹿内菜穂
140	鹿内菜穂	短期間のヨガによる高不安者の不安状態と重心動揺の変化	2023年9月	日本体育・スポーツ・健康学会第73回大会, 京都市・京都大学	鹿内菜穂
141	鹿内菜穂	立位姿勢保持における重心動揺と乱数生成課題からみるワーキングメモリの検討	2023年12月	第20回日本ワーキングメモリ学会大会, 京都市・京都大学	鹿内菜穂, 鴨頭輝, 伊藤憲治, 板垣文彦
142	鹿内菜穂	【招待講演】運動遂行中の認知情報処理: 乱数生成課題からみる立位姿勢保持と重心動揺	2024年3月	可視化情報学会 第19回こころの可視化研究会, ハイブリッド(草津市・立命館大学/オンライン)	鹿内菜穂, 鴨頭輝, 伊藤憲治, 板垣文彦
143	細井尚子	「少女歌劇」という芸能	2023年7月	2023 東アジア大衆演劇国際論壇 / 2023 東アジア大衆演劇国際論壇 「東アジア文化圏の舞台性大衆娯楽ー当事者の声・言葉から」 「東アジア文化圏の舞臺性大衆娯楽ー從当事者の聲音、語言」	後藤隆基、中野正昭、宮信明、簡秀珍、輪島裕介、王楽水、張啟豐、海震、林子竝、徐亞湘、洪榮林

144	細井尚子	ローカル化の方法としての「翻案」 —松竹歌劇のレビューから—	2023年12月	2023東亜大衆演劇国際學術研討會大衆演劇のグローバル化旅程/2023東アジア大衆演劇国際シンポジウム大衆演劇のグローバル化の旅路	水野多恵子、後藤隆基、中野正昭、宮信明、簡秀珍、輪島裕介、王樂水、張啟豐、海震、李思漢、林子竝、徐亞湘、羅仕龍、洪榮林
145	細井尚子	关于『新源氏物語』脚本	2024年3月	“古典文学与大众文化” 工作坊中国・北京外語大学・北京日本学研究中心	张龙妹、李玲、中本千晶、吕固亮、兵圣全智、孙萍、
146	Diego PELLECCCHIA	【招待】 Analog/digital transmissions of nō knowledge	2023年4月	Performing Intermedia in Japan (Stanford University, Humanities Center)	Diego PELLECCCHIA
147	Diego PELLECCCHIA	【基調】 The Reception of Nō Theatre in Italy Between the End of the 19th Century and 1954	2023年6月	2nd Symposium of the Association of Italian Researchers in Japan (Italian Culture Center, Tokyo)	Diego PELLECCCHIA
148	Diego PELLECCCHIA	【招待】 Reception of Nō and Kyōgen in Italy in the First Half of the Twentieth Century	2023年10月	The 44th Annual Conference of the Ezra Pound Society of Japan (University of Hyogo, Himeji Campus for Human Science)	Diego PELLECCCHIA
149	Diego PELLECCCHIA	Religious and secular aspects of nō as ritual in contemporary Japan	2023年11月	Performing Arts in Contemporary Japanese Society	Diego PELLECCCHIA
150	松葉涼子	Navigating Transformation: Premodern Publishers' Strategies in the Meiji Era	2024年3月	AAS 2024 Annual Conference, Seattle	—
151	松葉涼子	The Legacy of Popular Edo Publications in Modern Japan	2023年8月	The 16th International Conference of the European Association for Japanese Studies (EAJS)、online	—
152	高橋千晶	「懸賞と写真：雑誌と読者の共同体」	2023年5月	第118回国際ARCセミナー、ARC・Zoom配信	—
153	高橋千晶	「ARCデータベースを活用した家庭内視覚文化研究」 共同報告	2023年8月	ARC Days 2023	竹中悠美、嶋津麻穂
154	高橋千晶	「長江家旧蔵写真資料にみる「内」と「外」の二重性」	2023年11月	公開ワークショップ：東アジアの(家)領域における表と奥 立命館大学衣笠キャンパス 学術館2階 研究会室1	Lee-Kalisc、竹中悠美、西林孝浩、嶋津麻穂
155	金子貴昭	寛政十一年刊『俳諧十家類題集』の出版記録	2023年12月	京都俳文学研究会12月例会、キャンパスプラザ京都	—
156	金子貴昭	2種の『宿曜経』	2023年11月	IAPW Symposium of 2023 “Woodblock printing culture and contemporary good life”、揚州金陵大飯店 (中国・揚州市)	—
157	金子貴昭	日本当麻曼茶羅版画研究—古版画博物館所蔵増上寺板木を中心に—	2023年9月	14次原州世界古版画祭、古版画博物館 (韓国・原州市)	—
158	金子貴昭	出版記録のデジタルアーカイブとその効用—村上勘兵衛文書を事例として	2023年6月	アート・ドキュメンテーション学会 第34回 (2023) 年次大会、国際教養大学	樋口摩彌

159	永塚憲治	大英博物館所蔵のナウマン関連の土器	2023年12月	日本医史学会関西支部秋季学術集会 京都市	松岡尚則, 安部侑子
160	永塚憲治	艶本『風流色図法師』に引かれる内景図について	2023年12月	日本医史学会関西支部秋季学術集会 京都市	—
161	永塚憲治	『艶本房術龍之巻』について	2023年6月	第124回日本医史学会学術大会, 二松学舎大学, 東京都	—
162	森慈尋	『永源寺文書』と関連寺院所蔵文化財データベースの構築	2024年2月	ARC2023年度成果報告会	濱野未来
163	宮田悠史	【招待】石川新情報書府が残したものの：経済波及効果からその意義を整理する	2023年11月	デジタルアーカイブ学会 第8回大会, 石川県立音楽堂, 金沢市	—
164	宮田悠史	【招待】地域におけるデジタルアーカイブの経済波及効果推計に関する課題と展望	2023年7月	第15回 DA ショートトーク, オンライン開催	—
165	宮田悠史	自治体映像アーカイブによる経済波及効果推計モデルの検討：デジタルアーカイブに関連して生じる経済活動の整理を中心に	2023年6月	第3回 DA フォーラム, オンライン開催	—
166	ZHANG Yutao	自己教師あり学習モデルを用いたくずし字翻刻のための古文音声認識システムの構築	2024年3月	情報処理学会第86回全国大会, Online	戸塚史織, 耿毓庭, 岩居健太, 西浦敬信, 赤間亮
167	ZHANG Yutao	皮膚密着型マイクロホンを活用した古文音声認識に基づくくずし字翻刻システムの研究	2023年12月	R-GIRO 記号創発システム科学創成: 実世界人工知能と次世代共生社会の学術融合研究拠点Symposium2023	—
168	CHEN Peng	Joint Deep Neural Network for Single-Channel Speech Separation	2024年2月	RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing (NCSP), オンライン	Yuting Geng, Kenta Iwai and Takanobu Nishiura
169	YAN YANQIAO	Importance of the window function in phase reconstruction using DNN for audio super-resolution	2024年3月	NCSP 2024, Online	Yuting Geng, Kenta Iwai and Takanobu Nishiura
170	荒木慎太郎	「1980-90年代のセントラル・アーツと東映」	2023年12月	中部人間学会 第23回大会, 仁愛大学, 越前市	—
171	荒木慎太郎	「日本における映画からテレビへのメディア・コンテンツの変遷—東映を中心に—」	2024年2月	先端総合学術研究科 博士論文構想発表会, 立命館大学衣笠キャンパス, 京都市	—
172	荒木慎太郎	「日本映画における〈不良〉の表象—ヤクザ映画との比較から」 (The representation of bad boys in Japanese movies: An Analysis in Comparison with Yakuza Films)	2024年2月	公開ワークショップ「東亜電影中的文化芸術Filmed Arts in East Asian Cinema」、立命館大学衣笠キャンパス, 京都市	—
173	嶋津麻穂	近代演劇と淀君—坪内逍遙の史劇を中心に	2023年9月	Antitled友の会第2回研究大会, 立命館大学衣笠キャンパス	—
174	嶋津麻穂	近代歌舞伎における家族の群像—豊臣家終幕の錯乱と正気	2023年11月	公開ワークショップ「東アジア美術の〈家〉領域における表と奥」、立命館大	—

				学衣笠キャンパス	
175	嶋津麻穂	近代歌舞伎の淀君表象研究におけるデジタルアーカイブの活用	2024年3月	第13回 知識・芸術・文化情報学研究会、立命館大阪梅田キャンパス（大阪梅田駅前）	—
176	北原聡	90年代におけるCGアートNFT化における実践報告	2023年8月	ARC Days 2023	中村彰憲
177	北原聡	デジタルカルチャーにおける歴史的価値向上のデジタルデザイン プロジェクト発表	2023年2月	2023年度ARC成果発表会	中村彰憲
178	竹田章作	京都ストリート文化アーカイブの構築と発信プロジェクト	2023年8月	ARC Days 2023	斎藤進也
179	竹田章作	京都ストリート文化アーカイブの構築と発信プロジェクト	2024年2月	立命館大学アート・リサーチセンター 文部科学省、国際共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究」「日本文化デジタルヒューマニティーズ拠点」プロジェクト発表会	斎藤進也
180	井上明人	遊びゲームと学習- 学習は遊びゲームとどのように関係して論じられてきたのか? -	2023年9月	日本デジタルゲーム学会 2023年 夏季研究発表大会	—
181	井上明人	Behavioral and Cognitive Changes Due to Gameplay	2023年8月	Replaying Japan 2023	Hikaru Kasai, Saki Matsuda
182	平山昇	門司鉄道局と宗像神社 — 慢性不況と「思想悪化」のなかでの慰安と「修養」 —	2023年11月	鉄道史学会第41回大会（共通論題報告 鉄道史研究の可能性—国鉄門司鉄道局資料をどう活用していくか—）九州産業大学	—
183	草野真樹	門司鉄道局「局報」の資料的性格と位置づけ—戦前期を中心にして—	2023年11月	鉄道史学会 第41回大会、九州産業大学、福岡市	無
184	渡部邦昭	大礼輸送と福岡県	2023年11月	鉄道史学会、第41回大会、九州産業大学、福岡市	—
185	若林邦彦	The relationship of the environmental analysis and the studies on protohistoric social changes in Japanese archipelago	2024年3月	International Workshop : Multi-disciplinary and Inter-regional Perspectives on Environmental History Towards Comparative Study between Europe and Japan	—
186	若林邦彦	高地性集落論と弥生～古墳時代変化	2024年3月	弥生時代高地性集落研究 公開シンポジウム 「高地性集落」論のいま —半世紀ぶりの研究プロジェクトの成果と課題—	—
187	若林邦彦	長期変化からみた高地性集落顕在化の条件	2024年2月	環日本海文化交流史調査研究集会	—
188	田畑直彦	弥生土器の型式学と時間	2024年1月	第34回山口大学時間学カフェ 山口大学、山口市	—
189	田畑直彦	【招待】山口県	2024年2月	令和5年度 環日本海文化交流史調査研究集会、石川県埋蔵文化財センター、金沢市	—

190	田畑直彦	山口県島田川流域の高地性集落	2024年3月	基盤研究 (B) 弥生時代高地性集落の列島の再検証 成果公開・普及シンポジウム 「高地性集落論」のいまー半世紀ぶりの研究プロジェクトの成果と課題ー、同志社大学、京都市	—
191	青木美保子	女学校創設期の服飾資料保管の現状13 「京都女子学園裁縫教育資料の整理とアーカイブ化」	2024年3月	(一社) 日本家政学会 服飾史・服飾美学部会 2023年度第2回研究会、京都女子大学	—
192	大場修	京町家カルテ-カルテが再発見した京町家の多様な世界-	2023年 9月	『資料民家研究の新視点』2023年度日本建築学会大会 (近畿) 建築歴史・意匠部門 パネルディスカッション(2)	三浦要一, 大場修, 平山育男, 中村琢巳, 大野敏, 中尾七重, 山田由香里
193	松田法子	「和歌山市雑賀崎におけるコンクリート造民家の普及過程 紀伊半島の漁村・海付集落に関する史的研究 その8」	2023年9月	日本建築学会大会、京都大学	吉川晴夫・大場修
194	松田法子	「和歌山市雑賀崎におけるコンクリート造民家の発生と「コンクリート巻き」住宅 紀伊半島の漁村・海付集落に関する史的研究 その9」	2023年9月	日本建築学会大会、京都大学	吉川晴夫・大場修
195	松田法子	「和歌山市雑賀崎におけるコンクリート造民家の建設動機と実現の要因 紀伊半島の漁村・海付集落に関する史的研究 その10」	2023年9月	日本建築学会大会、京都大学	吉川晴夫・大場修
196	稲葉光行	Expanding activities to revitalize the city from the children's point of view:Update on Yawata Children's Conference off-school activities	2023年4月	University Communiy Links (UCLinks) International Conference 2023	—
197	稲葉光行	An Exploratory Study on the Effectiveness of Extensive Reading with Serious Games for JSL Learners	2023年8月	Replaying Japan 2023	Joji Iwamoto, Shin Juhung
198	稲葉光行	Grounded Text Mining Approach (GTxA) :A strategy integrating researchers' insights and computer-based textual processing	2023年9月	MMIRA Asia Regional Confernce 2023	Hisako KAKAI
199	稲葉光行	MMR第2世代が創り出す混合研究法の新たな世界	2023年10月	第9回日本混合研究法学会年次大会	抱井尚子, 八田太一, 河村洋子
200	稲葉光行	Developing Activities to Enhance Well-Being in a Local Community from the Viewpoint of Children: Update on Yawata Children's Conference	2024年3月	University Communiy Links (UCLinks) International Conference 2024	Saori YAMANAKA, Risa AKAI, Honoka SHINTAKU, Miuna SATO, Shuri KAWANO

4. 主催したシンポジウム

No	氏名	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	竹中悠美	Book Launch International Symposium CAPTURE JAPAN	立命館大学衣笠キャンパス	2023年5月	40名	立命館大学アジア・日本研究所重点プログラム「ポストメディア時代における東アジアの文化芸術研究」ユニット 立命館大学大学院先端総合学術研究科 科研費JP 17K02300
2	竹中悠美	公開ワークショップ：東アジア美術の〈家〉領域における表と奥	立命館大学衣笠キャンパス	2023年11月	30名	立命館大学アート・リサーチセンター研究拠点形成支援プログラム「ARCデータベースを活用した家庭内視覚文化研究」
3	竹中悠美	公開ワークショップ：東亜電影中的文化芸術	衣笠キャンパス	2024年2月	25名	立命館大学アジア・日本研究所重点プログラム「「ポストメディア時代における東アジアの文化芸術研究」ユニット
4	森岡秀人	「高地性集落」論のいま—半世紀ぶりの研究プロジェクトの成果と課題—	同志社大学今出川キャンパス	2024年3月	210名	—
5	塚本章宏	日本地理学会 地図・地図資料の歴史GIS研究グループ	関西大学（千里山キャンパス）	2023年9月	25名	—
6	塚本章宏	日本地理学会 地図・地図資料の歴史GIS研究グループ	青山学院大学（青山キャンパス）	2024年3月	30名	—
7	井上学	第20回全国バスマップサミット in TOKYO 江戸川	江戸川区総合文化センター	2024年2月	130名	—
8	細井尚子	2023 東アジア大衆演劇国際論壇 / 2023東アジア大衆演劇国際論壇 「東アジア文化圏の舞台性大衆娯楽—当事者の声・言葉から」 「東アジア文化圏の舞臺性大衆娯楽—従事者の聲音、語言」	オンライン・リアル（立教大学）併用	2023年7月	40名	主催：立教大学アジア地域研究所・JSPS 科研 22K00136（代表細井尚子） 共催：台湾・國立臺北藝術大學。東アジア大衆演劇研究会
9	森慈尋	インバウンド先進事例学習セミナー「Roots of Japan ～永源寺・政所茶から日本の原風景に触れる～」	永源寺	2023年9月	40名	東近江市観光協会・永源寺地区町作り協議会
10	荒木慎太郎	院生プロジェクト（研究会）「映画テレビドラマ映像分析研究会」	立命館大学衣笠キャンパス	—	—	先端総合学術研究科
11	井上明人	2023年度第12回定例研究会「Analyzing the “Cultural Identity” of Videogames: Through the Comparison Between Final Fantasy and The Witcher Game Series」	立命館大学学術館 第3研究会室	2024年3月	9名	—
12	井上明人	2023年度第11回定例研究会「Highly-reflective Screens: the game center as a theoretical object」	立命館大学学術館 第3研究会室	2024年2月	20名	—

13	井上明人	2023年度第10回定例研究会 「Analog Role-Playing Games and Transcultural Learning through First-Person Experiences アナログ・ロールプレイング・ゲームと一人称体験による文化越境的学习」	立命館大学学而館 第3研究会室	2024年1月	8名	—
14	井上明人	2023年度第9回定例研究会 「Japanese videogames in English translation」	立命館大学学而館 第3研究会室	2023年12月	13名	—
15	井上明人	2023年度第8回定例研究会 「ビデオゲームのフィクションを分割する」	立命館大学学而館 第3研究会室	2023年11月	8名	—
16	井上明人	2023年度第7回定例研究会 “Ecogames: Playful Perspectives on the Climate Crisis” /” Narrative-musical puzzle. Reading the media mix effects through music.”	立命館大学学而館 第3研究会室	2023年10月	15名	—
17	井上明人	2023年度第6回定例研究会 「Unlocking the Fun Factor: Exploring Casual Video Games, Gaming Motivation, AI-Powered Facial Emotion Recognition, and Eye Tracking」	立命館大学学而館 第3研究会室	2023年9月	10名	—
18	井上明人	2023年度第5回定例研究会 「おもちゃの哲学----テロス、遊動、不安」	オンライン (ZOOM)	2023年7月	30名	—
19	井上明人	2023年度第4回定例研究会 “Project Presentation: Cultures of Home Computer Music in the 1980s”	立命館大学学而館 第3研究会室	2023年6月	11名	—
20	井上明人	2023年度第3回定例研究会 「デジタルゲームにおける監視」	立命館大学学而館 第3研究会室	2023年6月	8名	—
21	井上明人	2023年度第2回定例研究会 「中国ゲーム史の社会思想系譜：本土現代化から資本論理まで」	立命館大学学而館 第3研究会室	2023年5月	13名	—

22	井上明人	2023年度第1回定例研究会 「シリアスゲーム、ボードゲーム、ゲームジャムに何を期待できるのか：系統的レビューとイベント実施の経験から」	立命館大学学而館 第3研究会室	2023年4月	12名	—
23	井上明人	フォーラム「日本のゲームアーカイブの現在と未来を考える」	ZOOM	2024年1月	80名	—
24	TRUJILLO DENNIS, Ana	“Hamada Shôji y Bernard Leach: los orígenes del museo Leach pottery” セミナー名 : “Complu Asia Seminar: Museums in Asia” (https://f965c820_9ad9_444b8c5cfd24bc1b6fb.filesusr.com/ugd/c52cf2_d87c32a19d334acfa7183dd43c82d393.pdf	Universidad Complutense de Madrid, Facultad de Geografía e Historia	2023年11月	—	Grupo de Investigación Asia (GIA)
25	TRUJILLO DENNIS, Ana	“One with nature: honoring a timeless Japan through the worship of nature. Mori Mariko’ s work in Okinawa”	EAJS2023: 17th International Conference of the European Association of Japanese Seminar Permanente del Área de Estudios de Asia Oriental. Leyendas y novelas de Japón en femenino. El poder de la palabra en el antiguo Japón Studies	2023年8月	1000 名	European Association for Japanese Studies (EAJS)

26	TRUJILLO DENNIS, Ana	タイトル : “One with Nature. La obra de Mori Marikoen Okinawa” セミナー名 : Reflexiones ecofeministas en el arte japonés contemporáneo (https://md.jpf.go.jp/es/Actividades/Estudios-Japoneses/evento/190/conferencia-y-mesa-redonda-reflexiones-ecofeministas-en-el-arte-japones-contemporaneo)	—	2024年3月	—	Fundación Japón Madrid The Japan Foundation, 国際交流基金
27	TRUJILLO DENNIS, Ana	“Canción de almohada, Makura no Sōshi 枕草子, de Sei Shōnagon y a escritura ‘a vuela pluma’ .”	—	2023年4月	—	Universidad Complutense de Madrid, Facultad de Filología /Grupo de Investigación Asia (GIA)
28	松田法子	「紀伊半島B科研2023年度末 報告会」	京都府立大学	2023年2月	17人	—

5. その他研究活動					
No	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間	
1	矢野桂司	バーチャル京都で歴史都市京都の 時空間をタイムトリップする	並木グループ9月例会	2023年 9月	
2	木立雅朗	京都の近現代遺跡と伝統産業の未来	兵庫県伝統文化研修館「特別講座」	2023年9月23日	
3	田中覚	科学的知見の創出に資する可視化 —ビッグデータのビ ジュアル分析を基盤とする 分野横断型デジタル視考—	日本学会会議・第25期「見解」	2023年 9月	
4	田中覚	ビッグデータ可視化を中核とした、情報科学と文化・ 芸術科 学の文理融合	日本学会会議・提言「未来の学術振興構想 (2023年版)」, No. 77 (グランドビジョ ン 10)	2023年 9月	
5	田中覚	Digital Archiving, 3D Visualization and Visual Analysis of the Borobudur Temple	BRIN Seminar	2023年10月	
6	田中覚	3次元計測を活用した有形文化財の精密可視化とVR	京都モーニングロータリークラブ	2024年 3月	
7	西林孝浩	(コラム) 「美術いま関西で(137)企画展「唐ものがた り 画あり遠方より来たる—香雪美術館の中国絵画 —」	『大阪日日新聞』2023年7月11日第10面	2023年7月11日	
8	SEIFMAN, Travis	“World War II Loot Found in a Massachusetts Home is Returned to Okinawa” という記事のためインタビ ューされて、引用された。	<i>New York Times</i> ,	2024年3月19日	
9	SEIFMAN, Travis	“Getting to Know Japan: The History of Okinawa	Yokosuka Council on Asia-Pacific	2023年6月22日	

		and the Ryukyu Kingdom” 一般向けの発表	Studies	
10	SEIFMAN, Travis	セミナー報告、Report on the talk ‘The Agony of Okinawa: Mao Ishikawa’s ‘The Great Photographic Scroll of the Ryūkyū’	Sainsbury Institute e-Bulletin	2023年5月3日
11	小寺未知留	Web記事「情報科学で音楽学と心理学を仲介する」	Webサイト「じんぶん堂」	2023年6月
12	小寺未知留	Web記事「若手研究者にさく、音楽研究の領域横断性」	Webサイト「じんぶん堂」	2023年6月
13	矢野健一	縄文人と弥生人	公益財団法人 京都市生涯学習振興財団主催アスニーセミナー 講演会	2024年2月9日
14	石上阿希	【招待】世界観講演「春画にみる養生・身体・笑い」	第61回日本癌治療学会学術集会、パシフィコ横浜	2023年10月21日
15	石上阿希	【招待】「小袖雛形本で読む江戸のデザイン」	武蔵川川女子大学文学部第2回歴史文化講座、庫川女子大学	2023年10月28日
16	田島等	「ファッションの世界、人材育成と事業の国際化」講演	関西日本香港協会・文化セミナー	2023年4月19日
17	田島等	「2030に向けたファッションビジネスと人材に関する提言」講演	ファッションビジネス学会・創設30周年記念 2023全国大会シンポジウム	2023年11月18日
18	井川繭子	連載記事：「松竹大谷図書館名品展」	『歌舞伎特選DVDコレクション』アシェット・コレクションズ・ジャパン 奇数号 計12回掲載	2023年4月～2024年3月（月1回）
19	井川繭子	連載記事「松竹大谷図書館 明治大正昭和レトロ写真館」	『歌舞伎座筋書』2024年1～3月掲載	2024年1～3月
20	佐々木絵理	連載記事：「松竹大谷図書館名品展」	『歌舞伎特選DVDコレクション』アシェット・コレクションズ・ジャパン 奇数号 計12回掲載	2023年4月～2024年3月（月1回）
21	佐々木絵理	連載記事「松竹大谷図書館 明治大正昭和レトロ写真館」	『歌舞伎座筋書』2024年1～3月掲載	2024年1～3月
22	佐々木絵理	展示：「ふたりの巨匠の芝居と映画—池波正太郎・司馬遼太郎 生誕100年—」	松竹大谷図書館 閲覧室	2023年6月30日～8月10日
23	佐々木絵理	報道発表：歌舞伎座新開場十周年記念グッズ発売	東京新聞、歌舞伎美人HPニュースページ、歌舞伎on the web、えんぶの情報サイト 演劇キック、SPICE エンタメ特価型情報メディアスパイス、ステージナタリー、エンタメターミナル、YAHOO! ニュース	2023年3月24日～4月5日
24	佐々木絵理	報道発表：演劇写真検索閲覧システムWeb公開	東京新聞、歌舞伎美人HPニュースページ、歌舞伎on the web、えんぶの情報サイト 演劇キック、SPICE エンタメ特価型情報メディアスパイス、ステージナタリー、YAHOO! ニュース	2023年10月6日～10月17日
25	佐々木絵理	展示：「劇作家・川村花菱 いまふたたび—生誕140年」	松竹大谷図書館 閲覧室	2024年1月26日～3月1日
26	武藤祥子	連載記事：「松竹大谷図書館名品展」	『歌舞伎特選DVDコレクション』アシェット・コレクションズ・ジャパン 奇数号 計12回掲載	2023年4月～2024年3月（月1回）
27	武藤祥子	連載記事「松竹大谷図書館 明治大正昭和レトロ写真	『歌舞伎座筋書』2024年1～3月掲載	2024年1～3月

		館」		
28	山口記弘	新聞コラム「太秦 時代劇の1世紀」	読売新聞夕刊 文化面 計12回掲載	2023年4月～2024年3月
29	山口記弘	東映公式ブログ「東映行進曲」	東映創立70周年記念ブログ 計51回掲載	2023年4月～2024年3月
30	山口記弘	撮影監督協会誌記事「撮影所通信・東映京都撮影所」	日本映画撮影監督協会季刊誌『映画撮影』計4回掲載	2023年4月～2024年3月
31	山口記弘	日本ウマ科学会誌「東映京都の顔役 伝説の馬方高岡政次郎」	日本ウマ科学会誌『ヒポファイル』9月号 No. 94	2023年9月発行
32	山口記弘	京都府土曜講座「電車が作った日本のハリウッド」講演	京都府庁旧議場	2023年4月15日
33	山口記弘	京都学・歴史館府民協働連続講座 都草講演会「東映70年の歩み」	京都歴史館	2023年6月18日
34	山口記弘	京都伝統工芸協議会講演「京都の映画とものづくり」	日航プリンス京都ホテル	2023年7月27日
35	佐古愛己	源氏物語ミュージアム連続講座 「私」の「光る君」へ 第10回「紫式部が生きた平安貴族社会」	宇治市生涯学習センター	2024年3月1日
36	森岡秀人	近畿弥生社会からみた下之郷遺跡・伊勢遺跡	守山市埋蔵文化財センター	2023年11月18日
37	森岡秀人	卑弥呼と庄内式土器が使われた時代	豊中市立郷土資料館	2023年11月12日
38	森岡秀人	石の土木史 矢穴技法(上)(下)、神戸市操練所跡を確認	中日新聞 コラム	2023年10月16日、11月30日、2024年1月15日
39	高須 奈都子	【講演】留具から装飾品へと花開く帯留 ―産業財産権の出願記録からの探究―	服飾文化学会研究例会(オンライン)	2023年10月28日
40	高須 奈都子	【講演】明治の帯留	共立女子大学博物館企画展講演会(共立女子大学博物館)	2023年5月20日
41	勝又 基	(招待講演) The Magical Power of Filial Piety	Academia sinica	2023年12月
42	勝又 基	(招待講演) 日本はいつから親孝行を大事にしなくなったのか	元智大学	2023年10月
43	佐藤弘隆	『東海道五十三次漫画絵巻』で読み解く大正時代の「まち」の情景:三遠の旧宿場町を中心に	2023年度豊橋市民大学トラム 愛知大学オープンカレッジ	2023年12月
44	佐藤弘隆	弓矢町文書から読み解く明治時代の武者行列	弓矢町デジタルアーカイブ報告会	2023年6月
45	Mohamed Soliman	Documentary: "A Sun God's Shadow: Dr. Soliman Chases Akhenten's Legacy"	Produced by Arlington Community Media Inc. (ACMI)-USA	2024年3月11日
46	Mohamed Soliman	Mitigation of Climate Change Impact on North Delta & Alexandria Cultural Heritage into a Global Environmental Context	Supported by International Geodesign Collaboration (IGC), Esri Co., the Liechtenstein Institute for Strategic Development GmbH	2023年7月1月～2024年4月31日
47	Mohamed Soliman	Master's thesis supervision: "Strengthening Resilient Intervention to Mitigate Climate Change Impact on Cultural Heritage Sites: A Case Study on Tanis, Egypt"	Helwan University, Egypt and Brandenburische Technische Universität-Germany	2021年9月1月～2024年3月31日
48	大西秀紀	初代桂春団治のらくだ	上方演芸講演会(大阪府立上方演芸資料館)	2024年2月

49	Lawrence E. MARCEAU	展覧会「Maternal Health and Images of the Body in Japanese Ukiyo-e 浮世絵に見る妊産婦と胎児の身体イメージ」（安井真奈美教授が率いる共同研究プロジェクト）	University of California, San Francisco (UCSF) カリフォルニア大学サンフランシスコ校	2023年11月～2024年12月
50	Lawrence E. MARCEAU	データベース（オンライン展示会）「Maternal Health and Images of the Body in Japanese Ukiyo-e 浮世絵に見る妊産婦と胎児の身体イメージ」（安井真奈美教授が率いる共同研究プロジェクト）	オンライン https://www.nichibun.ac.jp/online/ucsf_maternal_health/	2024年1月～
51	前崎信也	報道発表「北野天満宮の名刀に「令和のこしらえ」被災の輪島塗職人も参加」	毎日新聞 オンライン	2024年1月24日
52	前崎信也	報道発表「名刀「髭切」に新たな太刀拵えを…CF 1500万円2時間で達成、熱心な刀剣ファンらが背中押す」	読売新聞オンライン	2023年12月1日
53	前崎信也	報道発表「京都 北野天満宮 平安時代の太刀「鬼切丸」装飾部分 制作へ」	NHK関西 News Web	2023年11月29日
54	前崎信也	報道発表「北野天満宮 平安時代の太刀“鬼切丸”装飾部分新たに制作へ」	NHK京都 News Web	2023年11月29日
55	前崎信也	展覧会監修「融合する工芸 ―コレが答えだー」	会場：セイコーハウス銀座ホール	2023年11月9日～19日
56	前崎信也	【招待】令和5年度 裏千家淡交会青年部近畿第三ブロック研修会講演 「誰のため？何のため？ ―道具がつくられる理由について―」	令和5年度 裏千家淡交会青年部近畿第三ブロック研修会、会場：アクリエ姫路	2023年10月23日
57	前崎信也	展覧会監修「KOGEI Next Exhibition 2023」	会場：六本木ヒルズカフェ	2023年10月20日～22日
58	前崎信也	展覧会企画「TEA ELEMENT茶会 『く』 ふたつの茶の出会い」	会場：徳正寺（京都市下京区徳正寺町39）	2023年9月17日
59	前崎信也	展覧会監修「Colors of Kyoto: The Seifū Yohei Ceramic Studio」	会場：Cleveland Museum of Art	2023年8月19日～2024年3月10日
60	前崎信也	ラジオ出演「FM大阪 和楽器バンド 蜷川べにの easy going～和の響き～」#2	FM大阪	2023年4月15日
61	前崎信也	ラジオ出演「FM 大阪 和楽器バンド 蜷川べにの easy going～和の響き～」#1	FM大阪	2023年4月8日
62	廣瀬千紗子	講演：再現授業『西鶴諸国はなし』	同志社女子大学日本語日本文学会公開講演会	2003年7月1日
63	井上学	京都バス100年のあゆみ⑤	京都バス株式会社社内報 No.146 p.24-263.	2023年6月
64	細井尚子	【招待講演】劇場内外の身体與空間経験 ―日本與中國的案例―	清華大学	2024年3月15日
65	細井尚子	ワールド・シアター・レポート#File11「沖繩芝居」	国際演劇協会日本センター主催・オンライン	2023年12月18日
66	金子貴昭	金子貴昭「百年を経た『歴代風俗写真集』復刻の意義」	『復刻 歴代風俗写真集』、p.4、日外アソシエーツ	2023年6月～2023年6月
67	永塚憲治	医学図書館探訪	『医業の門』 計4回掲載	2023年3月～2024年1月
68	加茂瑞徳	【招待】講演会「染織デザインのあれこれ―江戸から	奈良市中部公民館・立命文華会共催講座	2023年5月20日

		明治へー]		
69	加茂瑞穂	【招待】講演会「流行の創出—明治期のきものから」	京染会館・京友禅協同組合連合会総合研修	2024年2月9日
70	常木佳奈	【紹介】日本近代文学館 編 出口智之 責任編集『明治文学の彩り：口絵・挿絵の世界』	日本近代文学, 108集, p. 192, 2023年5月	—
71	安宅望	2022年度アート・ドキュメンテーション学会第15回秋季研究集会 萌芽研究発表会 (後半) レビュー	アート・ドキュメンテーション研究 N031	2023年5月31日発行 pp57-59
72	山本睦月	国際ARCセミナーレビュー 単著 <第118回 国際ARCセミナー(高橋千晶氏)レビュー> 懸賞と写真: 雑誌と読者の共同体	紀要 アート・リサーチ24-2号 171-173頁	—
73	荒木慎太郎	コラム「美術今関西で (135) 駅にまつわるテクノロジー展 一駅の姿を知ることで見える人と人」	大阪日日新聞 2023年6月13日第10面掲載	2023年6月
74	北原聡	CGアニメーション作品「BLIMP」「TRAIN」	展覧会「MixUp!」アートギャラリー北野	2023年7月26日～7月31日
75	北原聡	CGアニメーション作品「BLIMP」「TRAIN」	大阪グランフロント「The Lab.」	2023年10月6日～ 2024年1月15日
76	竹田章作	秋田魁新報コラム	秋田魁新報「手描き映画看板、今も」	2024年1月5日
77	井上明人	「立命館大学 ゲーム研究に拠点、文化も産業も」	日経新聞	2023年5月
78	井上明人	社会問題をも飲み込む、ゲームが秘める「閉じた世界」をひらく可能性	ビジネス・インサイダー	2023年5月
79	井上明人	動き出す「ゲーム救出作戦」 80年代名作に迫る腐食危機	日経新聞	2023年6月
80	井上明人	Inside Out いまを解き明かす	日経新聞	2023年6月
81	井上明人	進化を続けるデジタルゲーム	朝日小学生新聞	2023年7月
82	井上明人	読売テレビ「ウェークアップ」	読売テレビ	2023年7月
83	井上明人	第1回 記号創発システム論研究会「人生の意味」	立命館大学	2023年7月
84	井上明人	ゲームとは何か?それが社会に与えるものとは?	404 NOT FOUND SHIBUYA SAKURA STAGE	2023年8月
85	井上明人	ゲームから、社会を考える	立命館大学オープンキャンパス	2023年8月
86	井上明人	『Replaying Japan』について語る	DiGRA Japan	2023年8月
87	井上明人	未開封マリオに7000万円 旧作ソフト、海外から注目	日経新聞	2023年8月
88	井上明人	第2回 記号創発システム論研究会「適応的習慣の形成と文化」	立命館大学	2023年9月
89	井上明人	第3回 記号創発システム論研究会「ことばの獲得をめぐる身体と環境のインタラクション」	立命館大学	2023年10月
90	井上明人	遊びに「攻略しない快樂」を取り戻す—「ゲーム」と「飲食」の交点で見出す、世界を豊かにする方法【ゲーム研究者・井上明人×宇野常寛】	DIG THE TEA	2023年11月
91	井上明人	社会をどう設計していくか?ゲーミフィケーションと社会課題解決	TBS Radio	2023年12月
92	井上明人	第4回 記号創発システム論研究会「拡張音メディアと記号・情報」	立命館大学	2024年1月
93	井上明人	2023年度 ゲームアーカイブ所蔵館連携に関わる分野別強化事業 最終報告会	文化庁	2024年2月

94	井上明人	【吉田寛・井上明人】ゲームプレイと他者への信頼 ゲームの社会的使命とは ゲームプレイにおける他者性の次元について考える 第5回 吉田寛『デジタルゲーム研究』を読む	未来に残したい授業	2024年2月
95	TRUJILLO DENNIS, Ana	オンライン 展覧会 SHINIE. Estampas para la memoria”	https://patrimonioidigital.ucm.es/s/estampas-japonesas/page/inicio	2023年
96	菅沼明正 草野真樹	門司鉄道局や旧国鉄の「局報」デジタル化 運行記録など門外不出の「史料」 九産大研究グループが公開を目指す	『西日本新聞』, 社会, 30面	2023年11月12日
97	大場修	日本の妻入民家と砺波地方のアズマダチ	公益財団法人 砺波市花と緑と文化の財団 となみ散居村ミュージアム・公開講座	2023年8月
98	大場修	水害多発国・日本の伝統的民家と減災	ITC2023国際研修	2023年10月
99	大場修	地域の歴史的建造物の特性把握とまちづくり	兵庫県文化財建造物保存修理技術スキルアップ講習	2023年9月
100	大場修	城下町龍野・姫路の町家と町並み	2023年度播磨学特別講座「姫路の城下と播磨」	2023年10月
101	大場修	江戸時代の庄屋住宅とくおもてなし>空間-重文・降井家書院と主屋の建築について-	大阪府文化財活用プロジェクトVol.4	2023年11月
102	大場修	「町家構え」とは何か-京町家カルテ委員長が見た京町家-	京都市景観・まちづくりセンター「京町家再生セミナー」	2024年2月
103	大場修	今庄宿の町家と町並	南越前町	2024年3月
104	杉本竜	行田・桑名・白河の学芸員が語る三方領知替 ここだけの話	白河市立図書館	2024年1月
105	杉本竜	馬と人の日本史	熱田神宮文化講座	2023年7月
106	荻田みどり	読み継がれてきた『源氏物語』	舞鶴工業高等専門学校 第47回学術情報センター講演会	2023年11月22日
107	松田法子	「生環境構築史について」、「島のエコロジーをくつくる」 一食べるかたち・住むかたち」	海士町島民ホール	2023年6月
108	松田法子	「土と暮らしのリデザイン」	日本土壌肥料科学会 100周年記念シンポジウム 食・土・肥料 SDGs達成のための基礎科学として	2023年7月
109	細井浩一	ゲーム展Ten	仮想空間展示	2023年4月～2024年3月
110	細井浩一	根付けミュージアム	仮想空間展示	2023年4月～2024年3月
111	細井浩一	多色摺木版画の版木-彫摺の技法	仮想空間展示	2023年4月～2024年3月
112	細井浩一	春画を見る、艶本を読む	仮想空間展示	2023年4月～2024年3月
113	細井浩一	京都”型友禅” バーチャルミュージアム	仮想空間展示	2023年4月～2024年3月
114	細井浩一	デザインの群舞：伊勢型紙の世界	仮想空間展示	2023年4月～2024年3月

115	細井浩一	能舞台と能舞体験	仮想空間展示	2023年4月～2024年3月
116	稲葉光行	メタバースを利用した日本文化に関する状況学習支援	明日のための学びの場「メタバースで広がる日本語教育の可能性」	2023年8月
117	稲葉光行	Current status and challenges of MMR in Japan	MMIRA Asia Regional Conference 2023	2023年9月
118	稲葉光行	グラウンデッド・テキストマイニング・アプローチ (GTxA)	第9回日本混合研究法学会年次大会	2023年10月

6. 受賞学術賞					
No	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	矢野桂司	公益社団法人都市住宅学会	2023年都市住宅学会賞・論文賞	論文：「ひとり親世帯の公営住宅団地の地域選択における傾向」（『都市住宅学』116号掲載）	2023年12月
2	西浦敬信	電子情報通信学会基礎・境界ソサイエティ	貢献賞		2023年9月
3	西浦敬信	電子情報通信学会基礎・境界ソサイエティ	編集活動感謝状		2023年9月
4	西浦敬信	日本音響学会	貢献賞		2024年3月
5	李亮・田中覚	The 42nd JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2023)	Student Presentation Award	High-precision rendering of 3D scanned point cloud based on noise transparency method	2023年8月
6	塚本章宏	地理情報システム学会	ポスターセッション賞	高等学校地理におけるカードゲーム型GIS教材の開発－地理的な見方・考え方を育むPBLでの活用－	2023年10月
7	永塚憲治	日本医史学会関西支部	医譚賞	『素女妙論』に関する研究	2023年12月
8	森慈尋	内閣府	CJPF024AWARD ムービー部門 グランプリ	源 ROOTS OF JAPAN	2024年2月

7. 科学研究費助成事業（科研費）						
No	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	前田亮	日本文化デジタルアーカイブの多言語データ統合の研究	基盤研究(C)	2023年4月	2027年3月	代表
2	矢野桂司	個人のライフコースと地域環境の変化を統合する健康地理学の研究	基盤研究(A)	2020年4月	2025年3月	分担
3	矢野桂司	実世界大規模構造物の形状理解のための、3次元計測ビッグデータの超高精細可視化	基盤研究(A)	2021年4月	2025年3月	分担
4	矢野桂司	不完全空間情報による空間推論のためのツールボックスの開発と応用	基盤研究(A)	2022年4月	2027年3月	分担
5	矢野桂司	デジタル社会における地図リテラシーの再構築	基盤研究(B)	2022年4月	2025年3月	分担
6	矢野桂司	学際的な研究基盤となる日本の「GIS地名辞書」	その他	2022年6月	2027年3月	代表

		の開発に関する地理学的研究				
7	木立雅朗	近代産業遺産の民俗考古学的研究-京都における 伝統工芸の総合的 研究と地域連携	基盤研究(B)	2022年4月	2025年3月	代表
8	木立雅朗	京焼の産業民俗学 的な研究基盤形成-観光開発 による産業集積解体に際して-	基盤研究(C)	2022年4月	2025年3月	分担
9	竹中悠美	中断された生の残像：写真の展示における美学 と倫理の問題	基盤研究(C)	2017年4月	2024年3月	代表
10	赤間亮	古文書解読熟練者の研究行為から抽出する音声 認識電子テキストアーカイブ	挑戦的研究(萌芽)	2021年4月	2024年3月	代表
11	赤間亮	第三期(安永〜享和期)役者評判記の出版に關す る総合的研究	基盤研究(B)	2021年4月	2026年3月	分担
12	田中覚	実世界大規模構造物の形状理解のための、3次元 計測ビッグデータの超高精細可視化	基盤研究(A)	2021年4月	2024年3月	代表
13	西浦敬信	次世代ピンスポットオーディオシステムの基盤 創成と体系化	基盤研究(B)	2023年4月	2027年3月	代表
14	西浦敬信	古文書解読熟練者の研究行為から抽出する音声 認識電子テキストアーカイブ	萌芽研究	2021年4月	2024年3月	分担
15	西浦敬信	音の身体性が心理情報処理に及ぼす影響の基盤 解明とその応用	基盤研究(A)	2021年4月	2025年3月	分担
16	西浦敬信	音像ホログラフィを用いた音響レイグジスタ ンス技術の基盤開発	基盤研究(B)	2021年4月	2025年3月	分担
17	西林孝浩	中国北朝後期仏教美術の再構築	基盤研究(C)	2023年4月	2027年3月	代表
18	SEIFMAN, Travis	「琉球使節の行列絵巻に関する基礎的研究 - 「異国」の演出と表象-」	基盤研究(B)	2024年4月	2028年3月	分担
19	加藤政洋	「特別都市建設法」の文化ポリティクスをめぐ る地理学的研究	基盤研究(C)	2021年4月	2024年3月	代表
20	河角直美	歴史GISによる京都の都市景観復原と地形の居住 地選択への影響に関する研究	基盤研究(C)	2020年4月	2025年3月	代表
21	河角直美	紀伊半島の海付集落を対象とする社会・空間・ 被災史デジタルアーカイブの構築と公開	基盤研究(B)	2021年4月	2025年3月	分担
22	小寺未知留	レナード・マイヤーの音楽情動論・様式変遷論 と音楽研究史の学際性	若手研究	2023年4月	2028年3月	代表
23	斎藤進也	学術成果の発信のための仮想展示環境に関する 研究	基盤研究(C)	2023年4月	2026年3月	代表
24	斎藤進也	昭和期の映画館文化に関するノンフィルム資料 アーカイブの構築	基盤研究(C)	2023年4月	2025年3月	分担
25	斎藤進也	ゲーム芸術とアニメ芸術の倫理 社会的義務の 記録と実装	挑戦的研究(萌芽)	2020年4月	2025年3月	分担
26	斎藤進也	インタラクティブCG技術を用いた質的調査法の 拡張に関する研究	基盤研究(C)	2020年4月	2025年3月	代表
27	島川博光	計算論的思考育成のための状態空間モデルを用 いたプログラミング上の見通しの検知	基盤研究(B)	2022年4月	2025年3月	代表
28	矢野健一	AUVとROVを併用した水中遺跡ロボット調査法の 確立と葛籠尾崎湖底遺跡成因の解明に関する研	基盤研究(B)	2023年4月	2025年3月	代表

		究				
29	李亮	3次元画像認知メカニズムの解明へ向けた実験基盤の構築とその応用	基盤研究(C)	2022年4月	2025年3月	代表
30	李亮	実世界大規模構造物の形状理解のための、3次元計測ビッグデータの超高精細可視化	基盤研究(A)	2021年4月	2025年3月	分担
31	鈴木桂子	「きもの」文化から視るグローバル・ヒストリー—染色技術・デザイン・製品を中心に—	基盤研究(C)	2021年4月	2026年3月	代表
32	鈴木桂子	「染色デザインの世界的連環—「きもの」文化を中心に—	基盤研究(C)	2018年4月	2023年3月	代表
33	石上阿希	「近世から近代の京都における絵入本の出版と受容—西川祐信を事例として—	基盤研究(C)	2023年4月	2027年3月	代表
34	石上阿希	「米国アメリカン大学C・N・スピックス文庫に見る昭和前期ジャパニストの日本文化観」	国際共同研究加速基金(海外連携研究)	2023年9月	2027年3月	分担
35	佐古愛己	中・近世公家の知の継承と財政基盤に関する基礎的研究—内記唐橋・東坊城家を事例に—	基盤研究(C)	2017年4月	2024年3月	代表
36	佐古愛己	古代中世日本における人事昇進制度の体系的把握と日唐宋麗比較史的研究	基盤研究(C)	2021年4月	2026年3月	代表
37	佐古愛己	東アジア漢字文化圏の疾病・疫病観の史的・現代的展開：鬼系病因論の起源と思想的水脈	基盤研究(B)	2022年4月	2025年3月	分担
38	畑恵里子	「海洋文化圏から見る浦島伝説の宗教観」	基盤研究(C)	2021年4月	2024年3月	代表
39	山本真紗子	「近代の美術普及史—百貨店美術部と美術商を中心に—」	特別研究員奨励費	2021年4月	2024年3月	代表
40	勝又基	米国アメリカン大学C・N・スピックス文庫に見る昭和前期ジャパニストの日本文化観	国際共同研究加速基金(海外連携研究)	2024年9月	2027年3月	代表
41	佐藤弘隆	近世日本の史料から新たな没入型景観・鑑賞型景観を創生するデジタルツインの可能性	基盤研究(C)	2023年4月	2027年3月	分担
42	佐藤弘隆	近代産業遺産の民俗考古学的研究—京都における伝統工芸の総合的研究と地域連携—	基盤研究(B)	2022年4月	2025年3月	分担
43	佐藤弘隆	京焼の産業民俗・都市民俗学的な研究基盤形成—観光開発による産業集積解体に際して—	基盤研究(C)	2022年4月	2025年3月	分担
44	塚本章宏	防災・災害復興に向けた地図・絵図資料の歴史GISデータ化	基盤研究(B)	2020年4月	2025年3月	分担
45	塚本章宏	近代地図の発展過程における伊能図の役割に関する歴史GIS研究	基盤研究(C)	2020年4月	2024年3月	代表
46	塚本章宏	最終版伊能図の製作過程と作図技法の解明—歴史GISを軸とした学際的アプローチ—	基盤研究(B)	2023年4月	2027年3月	分担
47	飯塚 公藤	日英における近代水陸交通の地域的変化に関する歴史GIS研究	若手研究	2021年4月	2025年3月	代表
48	飯塚 公藤	近世日本の史料から新たな没入型景観・鑑賞型景観を創生するデジタルツインの可能性	基盤研究C	2023年4月	2027年3月	分担
49	杉浦 和子	前近代日本の「万国人物図」群が示す人種観と世界観に関する総合人文的研究	基盤研究(B)	2022年4月	2026年3月	代表
50	大西秀紀	内外・タイヘイレコードのディスコグラフィ作成	基盤研究(C)	2021年4月	2025年3月	代表

51	大西秀紀	戦前期大阪における花街の総合的研究—芸能を媒介とする社会関係の形成を視点として—	基盤研究(C)	2021年4月	2024年3月	分担
52	竹内千代子	近世後期京都の芭蕉顕彰俳諧の研究	基盤研究(C)	2022年4月	2024年3月	代表
53	鹿内菜穂	ヨガによる姿勢、重心、身体動揺の変化に関する研究	若手研究	2020年4月	2024年3月	代表
54	鹿内菜穂	伝統芸能ビッグデータ構築による無形文化財の保存・解析・共有手法の開発	基盤研究(B)	2020年4月	2025年3月延長	分担
55	Diego PELLECCHIA	能の「ことば」の包括的・領域横断的研究に向けたオンライン・リソース構築	基盤研究(A)	2022年5月	2026年3月	分担
56	松葉涼子	Connecting Present to Past: Re-evaluating Japanese Traditional Printmaking	BA/Leverhulme Small Research Grants 2022-2023	2023年4月	2024年3月	代表
57	金子貴昭	村上家文書を活用した17～19世紀出版システムの再検討	基盤研究(C)	2022年4月	2025年3月	代表
58	加茂瑞穂	「近代日本における図案からデザインへの展開についての研究」	基盤研究(B)	2023年4月	2026年3月	分担
59	加茂瑞穂	「図案集」の産業・教育的意義—明治期京都における所蔵状況を中心に	若手研究	2020年4月	2024年3月	代表
60	常木佳奈	口絵デジタルアーカイブ拡充と明治期出版文化研究への活用(再延長)	研究活動スタート支援	2020年9月	2025年3月	代表
61	竹田章作	昭和期の映画館文化に関するノンフィルム資料アーカイブの構築	基盤研究(C)	2022年4月	2025年3月	代表
62	黒石陽子	「デジタル・アーカイブの拡充と発展的活用に向けた最盛期義太夫節浄瑠璃作品の研究」	基盤研究(B)	2022年4月	2026年3月	代表
63	黒石陽子	「第三期(安永～享和期)役者評判記の出版に関する総合的研究」	基盤研究(B)	2021年4月	2025年3月	分担
64	若林邦彦	弥生時代高地性集落の列島の再検証(代表:森岡秀人)	基盤研究(B)	2020年4月	2024年3月	分担
65	若林邦彦	酸素同位体比年輪年代法の高精度化による日本列島の気候・生産・人口変動史の定量化(代表:中塚武)	基盤研究(S)	2021年4月	2026年3月	分担
66	田畑直彦	弥生時代高地性集落研究の原点を見直す	基盤研究(C)	2020年4月	2024年3月	代表
67	田畑直彦	弥生時代高地性集落の列島の再検証	基盤研究(B)	2020年4月	2024年3月	分担
68	荻田みどり	源氏物語の受容を中心とした食に対する意識の変遷に関する研究	研究活動スタート支援	2019年8月	2024年3月	代表
69	松田法子	出移民史を通じた次世代育成のための地域密着型パブリック・ヒストリーの構築	基盤研究(B)	2022年4月	2025年3月	分担
70	松田法子	紀伊半島の海付集落を対象とする社会・空間・被災史デジタルアーカイブの構築と公開	基盤研究(B)	2021年4月	2025年3月	代表
71	稲葉光行	看護研究における混合研究法教育用ガイドブックの開発とeラーニングの構築	基盤研究(B)	2020年4月	2025年3月	分担
72	稲葉光行	仮想空間を媒介とした日本文化に関する状況学習支援環境に関する総合的研究	基盤研究(B)	2020年4月	2025年3月	代表
73	稲葉光行	科学的証拠を適正に活用するための学融的研究	基盤研究(C)	2021年4月	2024年3月	分担

74	稲葉光行	デジタルフォレンジックのための日本語著者 識別システムに関する研究開発	基盤研究(C)	2023年4月	2027年3月	分担
75	大場 修	「住空間史学」構築のための分野横断的研究	基盤研究(B)	2019年4月	2024年3月	代表
76	大場 修	紀伊半島の海付集落を対象とする社会・空間・ 被災史デジタルアーカイブの構築と公開	基盤研究(B)	2021年4月	2025年3月	分担
77	大場 修	占領期日本において接收された建築と都市に関 する研究	基盤研究(B)	2019年4月	2024年3月	分担
78	細井尚子	近現代日本・台湾の舞台性大衆娯楽の総合的研 究と東アジア文化圏研究の国際的拠点拡充 基盤 (C)	基盤研究(C)	2022年4月	2025年3月	代表

8. 競争的資金等（科研費除く）						
No	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	赤間亮	上方文化サロン：人的ネットワークか ら解き明かす文化創造空間 1780-1880	国際共同研究事業 英国との国際 共同研究プログラム（JRpS-LEAD with UKRI）	2021年12月	2024年11月	代表
2	山内啓之	Eco-DRRデジタルデータベースを利用し た水害伝通知の教育普及	令和5年度河川情報センター研究助 成	2023年10月	2025年9月	分担
3	山内啓之	ドローンにより撮影した画像から生成 したバーチャルリアリティ（VR）空間を 用いた空き家現地調査の効率化に関す る研究の高度化に向けた検討	中部大学 国際GISセンター共同研 究	2023年6月	2024年3月	分担
4	佐藤弘隆	長江家住宅の所蔵品データベースを活 用した京町家文化の発信	日本文化資源デジタル・アーカイ ブ国際共同研究拠点 研究費配分 型	2023年4月	2024年3月	代表
5	森慈尋	禅の古刹永源寺を巡るインバウンド観 光コンテンツ造成支援事業	観光庁：インバウンドの地方誘客 や消費拡大に向けた観光コンテン ツ造成支援事業	2022年5月	2023年3月	実務担当者
6	森慈尋	ARC 2023共同研究（研究施設・資源利 用型）	国の指定文化財「永源寺文書」と 関連寺院所蔵文化財データベース の構築	2022年10月	2023年3月	代表
7	TRUJILLO DENNIS, Ana	Title of the Research Project: Ukiyo e, illustrated books, albums and painted books in Madrid Collections	International Joint Research with Research Fund International Joint Digital Archiving Center for Japanese Art and Culture (ARC iJAC), Art Research Center, Ritsumeikan University	2023年3月	2024年2月	—
8	青木美保子	京都女子学園裁縫教育資料の整理とア ーカイブ化	京都女子大学宗教・文化研究所	2023年5月	2024年3月	代表

